



ST学部ゼミ要覧

ST Undergraduate
Seminar Booklet



目次 / CONTENTS

※各教員名をクリックすることでその教員のページへ飛びます。

Clicking on each faculty member's name will take you to that faculty member's page.

J_01 J 轟 博志 TODOROKI Hiroshi
J_02 J YOUN Seung Ho
J_03 J 松尾 雄司 MATSUO Yuji
J_04 J 久保 隆行 KUBO Takayuki
J_05 J 大橋 弘明 OHASHI HIROAKI
J_06 J 四本 幸夫 YOTSUMOTO Yukio
J_07 J 木村 力央 KIMURA Rikio
J_08 J 上原 優子 UEHARA Yuko
J_09 J 狩野 英司 KANO Eiji
E/J_01 E/J VAFADARI Kazem
E/J_02 E/J 笛吹 理絵 USUI Rie
E/J_03 E/J 韓 驥 HAN Ji
E/J_04 E/J 須藤 智徳 SUDO Tomonori
E/J_05 E/J 山根 友美 YAMANE Tomomi
E/J_06 E/J NISHANTHA Giguruwa
E/J_07 E/J DAHLAN Nariman
E/J_08 E/J 胡 飛瑜 HU Feiyu
E_01 E BUI Thanh Huong
E_02 E BOUKAMBA Kimo H.
E_03 E SUN Yiyang
E_04 E JONES Thomas E.
E_05 E MEIRMANOV Serik
E_06 E K C Dipendra
E_07 E CHEUNG Hubert

轟博志ゼミ

(日本語開講/月曜5限)

コンセントレーション

- ・観光学
- ・地域づくり
- ・観光産業

教員の研究情報

- ・古道の復原と活用
 - ・韓国人の心象地理
 - ・シルクロード文明史
- この3つがライフワークです

キーワード

- ・人文地理学
- ・理論観光学
- ・ヘリテージと地域社会
- ・韓国地域研究
- ・場所マーケティング

主な担当講義

- ・質的分析技法
 - ・(観光文化論)
 - ・(遺産観光論)
 - ・韓国フィールドスタディ
- ※括弧は役職につき一時的に非担当

ゼミ紹介

3回生では、場所マーケティング理論に基いた地域づくり調査と合宿を行います。4回生では、上記のキーワードの何れかから選択して、卒業研究に取り組みます。

轟ゼミの4年間

5セメ

特定の地域とともに、**観光地域づくりの実習**を行います。行先は毎回異なり、1・2回の合宿が伴います。調査研究の実際を学び合うとともに、ゼミ生間の親交を深めます。

6セメ

各自の研究テーマをもとに、基礎文献を輪読・討論をし、**理論的ベース**を作ります。1Qは単行本、2Qは論文を読みます。（調査地の事情により、5・6セメの入替がありえる）

7セメ

各自**卒業研究**にかかります。7セメ目は文献研究や地域予察などの下準備を行い、夏休みに各自調査を行います。8セメ目に卒業論文の執筆を行い、最終発表を経て提出します。

8セメ

轟ゼミでの卒業研究の流れ

テーマを仮決定

自分が関心を持てる分野
自分で調べに行ける場所
(誰も明らかにしていない仮説)

テーマに関する基礎研究書の講読

- ①研究単行本
- ②教科書
- ③対象地域に関する研究書・書籍

ライブラリーで
文献検索

文献リストの作成

- ①学術論文(査読誌・紀要)
- ②単行本
- ③学会要旨、報告書、他

文献を読む
文献カードをつくる

学説整理と問題提起(第1章)

- ①先行研究の時系列的整理と批評
- ②自己の研究の必要性の導出
- ③研究の概要(目的、方法、仮説、対象地域)

地域の地誌・史資料・統計の内容整理、
地域概観図作成

対象地域概観(第2章)

- ①歴史的概観(年表活用)
- ②地理的概観(図含む)
- ③論文テーマに関連する概観

休み中の現地調査計画樹立
インタビュー等のアポイント

現地調査

- ①景観観察
- ②資料収集
- ③対人調査(インタビュー・アンケート等)

収集ソースの仕分け
主要な結果の図表化

分析結果(第3章以降)

- ①結果の解説(図表も活用)
- ②先行研究との対比
- ③自分の仮説との比較)

収集ソースの仕分け
主要な結果の図表化

結論(最終章)

- ①結果要約(研究目的のどこまでが明らかに?)
- ②含意(=結論)
- ③今後の課題、積み残したこと

教員名 Instructor	轟 博志 TODOROKI Hiroshi
曜日・時限 Day, Period	月曜日・5限 Mon, 5 th
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	まずメールを！ hstod@apu.ac.jp その後時間調整して、研究室(B406)、ZOOM、メールのやり取りのいずれかで相談に応じます
講義分野（講義内容に関するキーワード Subject Field(Keywords related to lecture content)	<p>コンセントレーション： 観光学、地域づくり、観光産業</p> <p>キーワード： 人文地理学、理論観光学、ヘリテージと地域社会、韓国地域研究、場所マーケティング</p> <p>観光学を理論面から学んでみたい人、またそれを実際のフィールドで現地の人たちと触れ合いながら実践してみたい人向けです。轟の専門は「韓国の文化遺産を活用した場所マーケティング」ですので、人文地理学、場所のブランディング、韓国学等にも対応できます。大学院志望者も歓迎。</p>
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。
（ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する
（ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける
（ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

(✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる



Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

授業方法 Teaching Methods	地域づくりのグループワークと、個人による卒業研究で構成されます。どちらも一方的な講義方式ではなく、受講生による発表と討論、主体的な地域連携が中心になります。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>○5セメスター目</p> <p>特定の地域とともに、観光地域づくりの実習を行います。行先は毎回異なり、1・2回の合宿が伴います（今までの実績：韓国聞慶、韓国仁川、国東、耶馬溪、豊後大野、相島、日出、別府、沖永良部島など）。グループワークを行い、最後に地元プレゼンを行います。</p> <p>○6セメスター目</p> <p>各自の卒業研究も睨みつつ、基礎的文献の輪読を行い、理論的なベースを作ります。1Qは主に単行本を、2Qは主に学術論文を読みます。学生は担当の文献の書評を作成し・発表し、それをもとに討論をします。（調査地の事情で、5セメ目と6セメ目を入れ替える場合があります）。</p> <p>○7， 8セメスター目</p> <p>個人での卒業研究にかかります。7セメ目は文献研究や地域予察などの下準備を行い、夏休みに各自のテーマ・フィールドで調査を行います。8セメ目に卒業論文の執筆を行い、最終発表を経て提出します。</p>
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	受講人数によりますが、1，2週に一回ある発表のため、文献の読み込みなどの発表準備&討論のため他の発表者のパワポの事前チェックが必要になります。また卒業研究の開始後は、自身の調査や執筆のために一定の時間を割くことになるでしょう。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（30%）</p> <p>② 毎回の提出物と発表（30%）</p> <p>③ 学期ごとの最終成果物の完成度（40%）</p>

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。</p> 
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>○航空会社系の旅行会社勤務。一般旅行業務取扱主任者、旅程管理者。 ○ソウル市傘下の研究所勤務。2002年日韓ワールドカップの時は、ソウルへのインバウンドツーリズムコンテンツ開発に従事（梨泰院・弘大・北村韓屋村を担当）。2004年のバス路線改革（中央専用レーン化やトランジットセンター開設を担当）にも携わる。 ○盧武鉉政権時の大統領直属光州文化中心都市造成委員会専門委員 ○韓国鉄道技術研究院勤務 など。 ○TOPIK6級</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>観光学の理論書を多く読みこなします。詳細は最初の講義で紹介・分担します。</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>講義中に適宜紹介します。</p> 

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- 「遺産観光論」「観光文化論」を受講している、またはゼミと同時並行で受講することが望ましいです。またSSWや文献講読で学んだ論文の読み方・書き方についてもう一度おさらいして、ゼミで実践できるようにしましょう。
- 最初のゼミの時間で、ゼミ長と副ゼミ長を決めます。私と学生の橋渡し役、また意見等の取りまとめ役、イベント幹事などをになってもらいます。
- 卒論は個人で書きますが、アンケートやインタビュー、文献入手などは、是非お互い助け合ってください。調査地に一緒に赴くのも助けになりますし、自分の学びにもなります。
- 親睦目的の懇親会を4月、7月、10月、1月と季節ごとに行っています。食事代がかかるので、参加は任意です。
- 親睦目的のゼミ合宿は学生との間で機運が高まった年に行っています。ほぼ100%韓国です（ソウル、慶州、済州など）。
- 大学は研究をするところなので、卒業論文は皆さんが大学生であった証です。ぜひ、一生の宝物になる卒論を書きましょう！





ヨンゼミ

月曜日 5 限



■ コンセントレーション

- ・ホスピタリティ産業
- ・観光産業
- ・観光学
- ・地域づくり

■ 教員の研究情報

- ・観光学、心理学、マーケティング、デザイン思考、テクノロジー、地域観光など、複数の学問領域を横断する研究をしています。

・<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001572>

■ キーワード

- ・観光マーケティング、観光地マーケティング
- ・観光者行動と心理学
- ・観光コンテンツ・経験デザイン
- ・コミュニティツーリズム (CBT)

■ 主な担当授業

- ・デスティネーションマーケティング
- ・サービスエクスペリエンスデザイン
- ・イノベーションへの理解と対応、戦略デザイン (観光学 特殊講義)
- ・観光学入門
- ・ホスピタリティマネジメント (大学院)

■ ゼミの紹介

ヨンゼミでは、「観光マーケティング」、「観光者心理」、「経験デザイン」の3つの柱を軸に、理論と実践を融合させた学びを提供します。現代の観光産業と地域観光が直面する課題に取り組み、革新的なソリューションを生み出す力を養いませんか？ 共に学び、成長し、観光の未来をデザインしていきましょう。

- ・観光マーケティングと観光者行動の探究：理論と事例を通じて、観光戦略の立案方法を学びます。
- ・経験デザインの実践：観光コンテンツの創造と、魅力的な観光体験の設計手法を習得します。
- ・心理学的アプローチ：観光者の意思決定プロセスや行動パターンを心理学的視点から分析します。
- ・産学連携プロジェクト：地域の観光協会や企業と協働し、実際の観光振興プロジェクトに参加します。





2023年ヨンゼミ企画・運営した
鉄輪スケッチ大会のポスター

2025年ヨンゼミ紹介

春セメスターのヨンゼミでは、別府市鉄輪地域でのスケッチ大会を企画・運営する実践的なプロジェクトに取り組みます。ゼミ生は、地域資源を活かしたイベントの企画、マーケティング戦略の策定、現地での運営、そして大会の効果測定と評価に至るまで、総合的なスキルを習得します。

- ✓ 地域の特徴を活かした観光イベント企画の方法を学ぶ。
- ✓ 実際のイベント運営を通じて、計画の実行力及びマーケティング企画力を養う。
- ✓ イベント終了後の効果測定とフィードバックに基づく改善提案を行う。
- ✓ コミュニティとの連携や協力を通じた地域活性化の可能性を探る。



教員名 Instructor	ヨン スンホ YOUN Seung Ho
曜日・時限 Day, Period	月曜日・5限 Monday, the 5 period
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	メールでの日程調整 shyoun@apu.ac.jp Please send email to shyoun@apu.ac.jp for the meeting appointment
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセントレーション： ホスピタリティ産業、観光産業、観光学、地域づくり キーワード： 観光マーケティング、観光地マーケティング、観光者行動と心理学、観 光コンテンツ・経験デザイン、コミュニティツーリズム（CBT） Concentrations: Hospitality Operation, Tourism Industry, Tourism Studies, Regional Development Keywords: Tourism Marketing, Destination Marketing, Tourist Behaviour/ Psychology, Tourism Experience Design, Community-Based Tourism
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

- 1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
 - ☐ 1-a. 社会と地域について学問横断的に理解することができる。
 - ☐ 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
 - ☒ 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

- 2. 課題解決のためのリテラシーを修得する
 - ☐ 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
 - ☒ 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
 - ☐ 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
 - ☐ 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

- 3. 世界市民としての責任感を身に付ける
 - ☐ 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
 - ☐ 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

<div>授業方法</div> <div>Teaching Methods</div>	<p>本ゼミは、教員によるクラス全体への講義、チームによるアクティビティ、ディスカッション、プレゼンテーション、演習作業の組み合わせを基本とします。各チームは、セメスターを通じて特定のテーマに基づいたプロジェクトに取り組みます。グループワークによる共同発表を通じて成果を共有し、フィードバックを行います。さらに、最終成果物は現地のステークホルダーの前で発表、実施し、実践的なフィードバックを得る機会も提供します。</p> <p>「2025年春ヨンゼミのテーマ」 2025年の春セメスターのヨンゼミでは、別府市鉄輪地域でのスケッチ大会を企画・運営する実践的なプロジェクトに取り組みます（2025年6月鉄輪蒸し通期間中に開催予定）。ゼミ生は、地域資源を活かしたイベントの企画、マーケティング戦略の策定、現地での運営、そして大会の効果測定と評価に至るまで、総合的なスキルを習得します。</p>
<div>毎回の授業の概要</div> <div>Overview of Each Class</div>	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 懇談会：鉄輪ツーリズム事務局、地域ステークホルダー様 スケッチ大会の目的とターゲット設定 大会の企画立案（テーマ設定、会場選定、予算策定） マーケティング戦略とプロモーション活動の設計 スポンサーシップと地域協力の獲得 実施計画の詳細詰め（スケジュール、役割分担、必要な物資） 中間報告会（企画内容のプレゼンテーションとフィードバック） イベント前の最終準備とリハーサル スケッチ大会当日の運営 イベント終了後の効果測定と評価方法 チームでの分析と改善提案の作成 最終報告書の作成 最終プレゼンテーションと総括
<div>授業外学習（予習復習）の内容と分量</div> <div>and review)</div>	<p>ディスカッションを円滑に行うために毎回必要な事前課題が出されます。予習しない場合は、ゼミを履修する意思がないものとみなし、ゼミの単位を履修しません。</p>

成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>① 授業への取り組み度合い・貢献度合い (50%) (1-c)</p> <p>② 成果物 (中間・最終報告、プレゼンテーション) (50%) (2-b)</p>
多文化協働学 修の実践方法	各学生の専門性や関心の共通点や相違点を的確に把握し、学生同士が互いに補完し合い、刺激し合える環境づくりを目指します。
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)	30年以上にわたり、国内外の大学や観光関連企業、研究機関で観光の研究および実務に携わっています。特に地方観光地における観光マーケティング戦略の企画および実行に経験を持ち、大学の研究者や観光コンサルタントとして活動してきました。これまで、大学の研究所、政府系研究機関、ホテルグループ、リゾート施設、観光NPOで勤務した経験を持ち、2017年4月より現職に就いています。学歴としては、韓国で観光経営の学士号、観光開発の修士号を取得し、さらにイギリスで観光マーケティングの修士号および心理学の博士号を取得しました。イギリスと韓国での勤務経験があり、現在は国内外の地方観光地におけるマーケティング戦略や観光商品開発に携わっています。私のゼミでは、マーケティング理論と実際の観光現場で得た経験に基づいた実践的なフィールドプロジェクトを重視しています。受講生は、実際の地方観光地が直面する課題に対して実践的な解決策を学び、実社会で即戦力となるスキルを習得することが期待されます。
テキスト備考 Textbook	テキストは特に使用しません。教員が都度資料を提供します。
参考文献 Further Reading	<ul style="list-style-type: none"> • Philip Kotler, John T. Bowen, James Makens, Seyhmus Baloglu (2016) "Marketing for Hospitality and Tourism" (7th Edition), Pearson • 観光庁 『観光白書』 (最新版) • その他、授業内で適宜紹介します。

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- ディスカッションを円滑に行うために毎回必要な事前課題（事前調査）が出される。教員が提供するテキスト又は資料などを事前に読んでゼミに出席すること。予習しない場合は、ゼミを履修する意思がないものとみなし、ゼミの単位を履修しない。
- ゼミの諸活動には積極的に参加すること。ゼミ時間外での現地調査やフィールドワークに関する打ち合わせや活動があるため、積極的な参加を求める。またチームプロジェクトの目標を達成するためには、自ら進んで授業外での積極的な活動が求められる。
- 現地調査および打ち合わせへの出席は必須とする。
- 特別な事由なくゼミに欠席・遅刻したり、課題を提出しなかったりすると、自分の学習に支障が生じ、ゼミのメンバーにも迷惑となる。従って、毎回のゼミには最初から最後まで参加し、課題は期限までに必ず提出することが求められる。事情により期限までに提出できない場合は、事前に必ず連絡すること。
- 毎回の授業にノートPCを持参すること。

松尾ゼミ



木曜日5限

■ コンセントレーション

- ・ 環境学
- ・ 資源マネジメント
- ・ データサイエンスと情報システム

■ キーワード

- ・ 再生可能エネルギー・化石エネルギー・原子力
- ・ エネルギーシステム
- ・ カーボンニュートラル
- ・ 気候変動

■ 教員の研究情報

- ・ エネルギーシステムや気候変動対策に関するモデル分析等について研究をしています

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001647>

■ 主な担当授業

- ・ [エネルギーマネジメント](#)
- ・ [環境汚染と防止](#)
- ・ [特殊講義（共通教養科目）（九州電力寄附講座）](#)
- ・ [調査研究法（環境・開発）](#)

■ ゼミの紹介

当ゼミでは、環境問題、特にエネルギー・気候変動問題について、基礎となる文献やデータを調べ、客観的に分析する知見とスキルを身につけます。一人、もしくは少数のグループでテーマを設定し、文献を読んでまとめ、発表することが求められます。これにより、エネルギーや環境問題について、社会の情勢や最新の動向をもとに分析し、実務や政策提言、研究等に生かせる人材の育成を目指しています。選考にあたっては、自ら興味を持って学習を深め、卒業論文執筆を目標とする学生を優先します。

教員名 Instructor	松尾雄司 MATSUO Yuji
曜日・時限 Day, Period	木曜日・5限 Thu, 5 th
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（火曜日2限@F346） もしくはメールで連絡をしてください。matsuo-y@apu.ac.jp Please visit F346 during the office hour (Tue, 2 rd), or email me at: matsuo-y@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセントレーション： 資源マネジメント、環境学、データサイエンスと情報システム キーワード： 再生可能エネルギー、化石エネルギー、原子力、エネルギーシステム、 カーボンニュートラル、気候変動 Concentrations: Resource management, Environmental studies, Data science & information system Keywords: Renewable energy, Fossil energy, Nuclear energy, Energy system, Carbon neutrality, Climate change
履修の目安 Recommended Qualification s / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	受講生は教員との相談の上、自分に関心のあるテーマを選定し、それについて指定された、もしくは自ら選定した文献の読解、データの分析、成果の発表などを行います。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	① オリエンテーション、受講生自己紹介など ② エネルギー・環境関連データ取得、分析方法等に係る演習 ③ エネルギー・環境関連データ取得、分析方法等に係る演習 ④ エネルギー・環境関連データ取得、分析方法等に係る演習 ⑤ エネルギー・環境関連データ取得、分析方法等に係る演習 ⑥ エネルギー・環境関連データ取得、分析方法等に係る演習 ⑦ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑧ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑨ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑩ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑪ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑫ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑬ 選定テーマに関連した文献読解・分析 ⑭ 最終成果発表
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	文献の読解やデータの分析等のために、毎週４～５時間程度の授業時間外学習が必要になります。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（50%） (1-c) ② 成果物（発表資料等）の完成度（50%） (2-b)

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>各学生の専門性や関心、文化的背景等を把握した上で、多様な範囲にわたってテーマを設定し、互いに補完・刺激しあえる環境を構築します。</p>
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	<p>業界：調査研究機関（日本エネルギー経済研究所） 所属部署：定量分析部門 職務内容・勤務年数等：約15年間にわたってエネルギー・環境関連の分析業務に従事。政府や国際機関（IEA等）の専門家会合に参画し、政策立案に貢献した。</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>教員の選定したテキストの他、学生が独自に文献を選んで使用します。</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>－日本エネルギー経済研究所（2017）『図解エネルギー・経済データの読み方入門』省エネルギーセンター －Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC) (2021-2023) "Sixth Assessment Report" https://www.ipcc.ch/assessment-report/ar6/ －経済産業省資源エネルギー庁（2024）『エネルギー白書2024』 https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/</p>

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- 毎回ノートPCを持参してください。
- 普段から環境問題やエネルギー問題に関心をもち、関連するニュースなどに目を通すよう心掛けてください。
- 環境問題が自分の生活や将来とどう関係するかを意識しつつ学生生活を送ってください。

久保ゼミ

木曜日4限 日本語開講

※25春セメは在外研究のため開講しません



■ コンセントレーション

- ・ 地域づくり
- ・ 観光産業
- ・ 観光学
- ・ 環境学

■ キーワード

- ・ 持続可能な都市/地域開発
- ・ 都市/地域のグローバル競争力
- ・ 都市/地域デザイン
- ・ 観光まちづくり
- ・ 地域創生

■ 教員の研究情報

- ・ 都市や地域のグローバル競争力をどのように高めるかについて研究してます

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001579>

■ 主な担当授業

- ・ 都市デザイン
- ・ MICE産業論
- ・ 専門実習（おおいた遺産）
- ・ イギリスフィールドスタディ
- ・ Tourism Policy and Planning（大学院）

■ ゼミの紹介

当ゼミの演習では、学生自身が選んだ都市・地域を社会科学の観点から客観的に分析する知見とスキルを身につけます。さらに、分析結果をもとに、都市・地域の持続可能な発展を目指したグローバルな視点での開発の方策について、都市計画、都市デザイン、観光まちづくり、環境保全など様々な切り口から提言できる能力を備える人材育成を目標とします。当ゼミの選考にあたっては、相互学習に努め、卒業論文執筆を目標とする学生を優先します。

※25年SPは他の先生の「地域づくり」ゼミを選択してください。

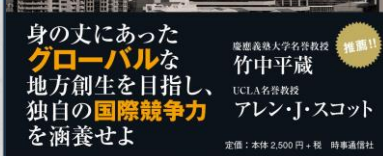
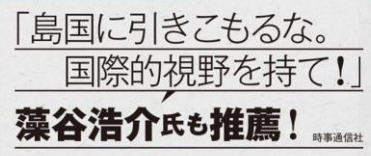
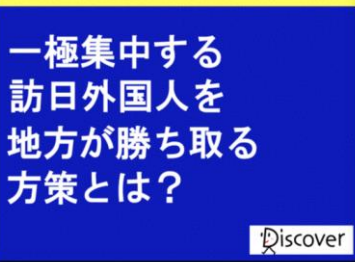
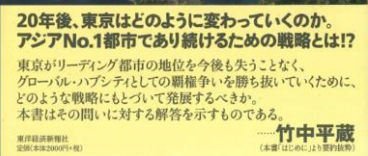
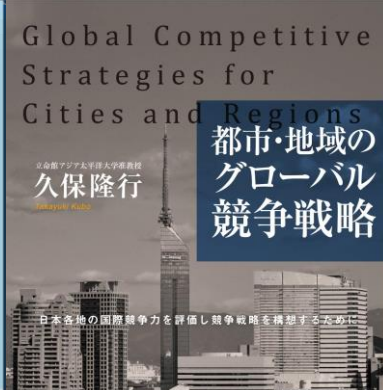
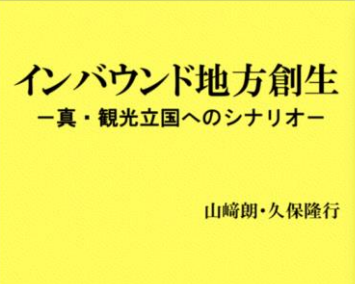
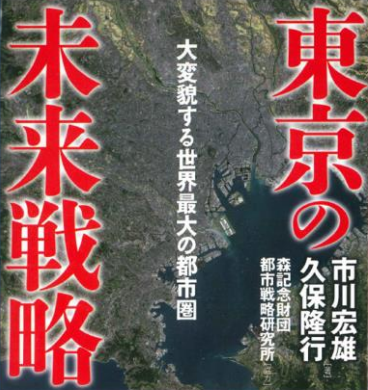
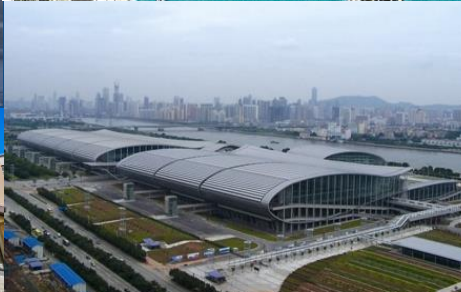
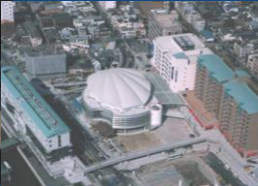
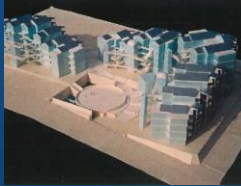
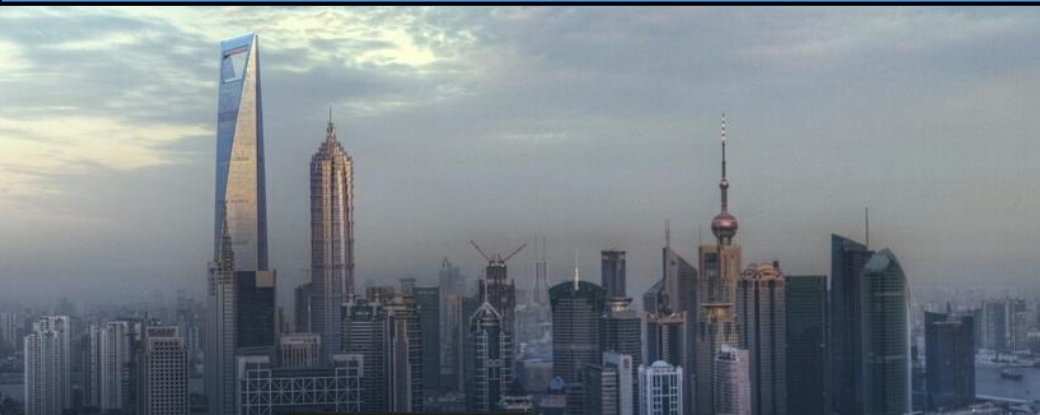




木曜日4限 日本語開講

※25春セメは在外研究のため開講しません

Takayuki Kubo
Urban
researcher



教員名 Instructor	久保隆行 KUBO Takayuki
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（火曜日3限@B-506）に随時受け付けます。 または、メールしてください。 takkubo@apu.ac.jp Please visit B-506 during the office hour. (Tue, 3 rd) Or, please send e-mail to: takkubo@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセントレーション： 地域づくり、観光産業、観光学、環境学 キーワード： 持続可能な都市/地域開発、都市/地域のグローバル競争力、都市/地域 デザイン、観光まちづくり、地域創生 Concentrations: Regional Development, Tourism Industry, Tourism Studies, Environmental Studies Keywords: Sustainable Development, Global Competitiveness, Urban Design, Destination Development, Regional Revitalization
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。
（ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する
（ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける
（ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	<p>教員による指導のもと、受講生は自らの研究の基礎となるさまざまなデータ調査および分析方法を身に着けます。グループワークによる共同発表や個別発表により各自の成果を共有しフィードバックを行います。</p>
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>① オリエンテーション、受講生自己紹介など</p> <p>② 都市・地域のデータ取得、分析方法にかかわる指導</p> <p>③ 都市・地域のデータ取得、分析方法にかかわる指導</p> <p>④ 都市・地域のデータ取得、分析方法にかかわる指導</p> <p>⑤ 都市・地域のデータ取得、分析方法にかかわる指導</p> <p>⑥ 都市・地域のデータ取得、分析方法にかかわる指導</p> <p>⑦ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑧ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑨ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑩ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑪ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑫ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑬ 受講生が選定した都市・地域の分析演習</p> <p>⑭ 最終成果発表</p>
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	<p>自分にとって参考となる最良の文献（書籍）を授業時間外に講読してください。さらに、復習および発表準備のために毎週４～５時間程度の授業時間外学習が必要になります。</p>
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（50%）（1-c）</p> <p>② 最終成果物（毎回の演習成果の集大成）の完成度（50%）（2-b）</p>

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。</p>
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	<p>設計事務所にて建築設計・都市計画の実務をキャリアの基点とし、デベロッパー、民間シンクタンク、総合商社、自治体シンクタンクでの勤務を経て 2017 年 10 月より現職。修士（建築学）、博士（経済学）、一級建築士を保有。米国ワシントン DC、中国上海、韓国ソウルでの勤務歴を有し、国内外での都市・地域づくりにかかわる。 多様多彩な経験を受講生と共有することを期待しています。</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>久保隆行（2019）『都市・地域のグローバル競争戦略』時事通信社 山崎朗・久保隆行（2016）『東京飛ばしの地方創生』時事通信社 山崎朗・久保隆行（2015）『インバウンド地方創生』ディスカヴァー・トゥエンティワン（電子書籍）</p>

<p>学生への要望事項</p> <p>Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回の授業にノートPCとマウスの持参は必修です。 • 「サステイナブル都市開発と計画」「都市デザイン」を受講していることが望ましい。 • 当ゼミの下記の過去の卒論テーマおよびそのなかの優秀論文（✓）をダウンロードして目を通し、自分の今後の研究テーマをイメージしておいてください。 <p><AY2023></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 北海道におけるアイヌ民族の誇り回復に向けたエスニックツーリズムの可能性 ～オーストラリアのアボリジニ政策との比較をもとに ✓ 大分県別府市におけるパフェツーリズムの可能性 ～パフェを活用した観光施策提言 ✓ 大分県全域の均衡ある観光の発展～おおいた遺産を活用した方策～ • 大分観光における大分空港の役割の実態と強化に向けた方策 • 千葉県安房地域における観光の現状と今後の可能性～誰もが訪れたくなる「半島最南端」を目指して • 福岡県糸島市における長期滞在型観光の可能性～持続可能な観光地としての発展を目指して • アニメツーリズムによる熊本観光の発展～ONE PIECE熊本復興プロジェクトを今後へ • 和歌山県那智勝浦町におけるアルベルゴ・ディフーズによる持続可能な観光の形態～イタリア・カンパニア州、トスカーナ州を事例に • 大分観光における寺社の役割 • 別府市が福祉観光のデスティネーションとして選ばれるために • 岩手県県北地域における鉄道を活かした観光推進の可能性 <p><AY2022></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 奈良観光における課題と魅力向上に向けた方策～なぜ人々は観光において奈良ではなく京都を選ぶのか～ ✓ 広島が目指すべきグローバルなまちづくりの方策～福岡との比較にもとづき～ ✓ 五島市の教会群の維持に向けた課題と方策 • 北陸三県における広域周遊観光の実態と可能性～北陸新幹線を活用して～～
--	--

<p>学生への要望事項</p> <p>Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大分県におけるマイクロツーリズムの可能性～別府市と豊後大野市の事例に基づき 宮古島市が目指すべき観光地としての真の姿～持続可能な観光の在り方～ 新型コロナウイルス感染症によるライブエンターテイメント市場への影響とオンラインライブの今後の可能性 大分県における土産品の実態と展望～地域産品による付加価値向上に向けて～ 脱ベッドタウンを目指した持続可能なまちづくりの方策～福岡県福津市を事例に～ <p><AY2021></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 大分県の空港アクセス改善計画に関する研究～ホーバークラフト再整備によるインパクトとさらなる可能性～ ✓ 「Go To キャンペーン事業」はコロナ禍の観光地を救ったのか～大分県別府市の事例をもとに～ ✓ ワークেশョンの効果と可能性～大分県別府市を事例として～ ✓ 寺社観光に関する研究～福岡県篠栗町を事例として ・ eスポーツを活用した地域活性化－eスポーツを活用している地方都市の事例を用いて－ ・ 鳥取県岩美町におけるコンテンツツーリズム～リピーターの獲得による持続可能性について～ ・ ハウステンボスから見る地方テーマパークの可能性 ・ 大分県豊後高田市における移住政策が観光に与える影響～豊後高田市の活性化に向けて～ ・ 廃校キャンプ場の研究～大分県竹田市のケーススタディ～ ・ 横須賀市の観光における現状と課題解決 ・ 温泉地の持続的な観光まちづくりの方策～別府温泉、由布院温泉、黒川温泉の比較考察～ ・ 食を通じたインバウンド観光客戦略に関する研究～滋賀県近江八幡市を事例に～ ・ 浜松市の観光施策 ・ 持続可能な前橋中心商店街の在り方～日本各地域の事例から、関係人口の創出方法を考える～
--	---

<p>学生への要望事項</p> <p>Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住み込み外国籍家政婦導入の加速化によって期待できる日本女性の社会進出～香港で働く家政婦を事例として～ ・ 北海道新幹線の厳しい現状と札幌に託された未来 ・ 日韓関係悪化の背景に潜むのは果たして歴史問題だけなのか～教育・国民性・メディアの視点から分析する 日本と韓国の根本的な差異～ <p><AY2020></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 秋田県のインバウンド観光の現状と展望 ✓ 北九州市の産業観光によるインバウンド集客の分析と課題 ・ 台南市の訪台南日本人観光客増加に向けての施策―訪台南日本人観光客の実態を踏まえた今後の考察― ・ 日本におけるラグジュアリーホテルの現状と課題 ・ 長期的に地域を活性化できる観光の在り方 ・ 人口減少に対応した観光政策に関する研究―福岡県八女市を事例として― ・ 別府市外国人留学生のアルバイト雇用の問題点と活用方法―雇用問題解消とインバウンドの満足度向上へ― ・ 八女市観光政策の批判的考察～八女市の再活性化に向けて～ <p><AY2019></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光都市・東京における旅館の再生方法に関する研究 ✓ 大分県・別府市のDMOの現状と課題 ・ 蒲江のブルーツーリズムにおける観光発展への道のり ・ 大分県別府市のインバウンド集客を向上するために～交通手段と宿泊施設の現状と展望～ ・ 九州のインバウンド観光における福岡空港の役割―航空会社の施策・地方空港のインバウンド対策の分析と福岡空港の今後の在り方 ・ 日本におけるウェルネスツーリズム発展に向けて～温泉×和食の魅力を世界に～ ・ 大分県臼杵市野津地区における観光の実態とグリーンツーリズムの可能性 ・ インバウンド観光による国東半島活性化に関する研究～自然と観光が共存する豊かな国東半島を目指して～
--	--

大橋ゼミ



木曜日4限

■ コンセントレーション

- 地域づくり
- 国際開発
- 観光学
- 環境学

■ キーワード

- 都市・地域計画、まちづくり
- 空間計画・政策、地方創生
- 都市（再）開発・デザイン、歴史保全
- 防災・減災、環境調和、国土強靱化
- 国際協力

■ 教員の研究情報

- 都市・地域計画、空間計画・政策、まちづくりなどに関する研究をしています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001654>

■ 主な担当授業

- サステイナブル都市開発と計画
- レジリエント都市論
- Urban Sustainability (大学院)
- Special Studies (Tourism and Hospitality) (大学院)

■ ゼミの紹介

理論的かつ実践的な両側面から、都市・地域計画、まちづくり、空間計画・政策、都市（再）開発・デザイン、歴史保全、防災・減災などを学び、国内外において持続可能でレジリエントな地域づくりに貢献する人材育成を目標としています。



教員名 Instructor	大橋 弘明 OHASHI Hiroaki
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限（暫定） Thursday, 4th Period (Tentative)
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（金曜日3限）にオフィス（B513）で相談に応じます。 あらかじめ、メールしてください（h-ohashi@apu.ac.jp）。 Please visit B513 during the office hour: Friday, 3rd Period. Before the visit, please make an appointment by e-mail: h-ohashi@apu.ac.jp.
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field(Keywords related to lecture content)	コンセンテーション：地域づくり、国際開発、観光学、環境学 キーワード： 都市・地域計画、まちづくり、空間計画・政策、地方創生、都市（再）開発・デザイン、歴史保全、防災・減災、環境調和、国土強靱化、国際協力 Concentrations: Regional Development, International Development, Tourism Studies, Environmental Studies Keywords: Urban and Regional Planning, Spatial Planning and Policy, Regional Revitalization, Urban (Re)development and Design, Historical Preservation, Disaster Management, Environmental Harmonization, International Cooperation
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.


☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	都市・地域計画やまちづくりに関する知識・技能を習得しつつ、論理的思考力・批判的思考力・水平思考力を養いながら、卒業研究・卒業プロジェクトの準備を行います。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>本コースは、以下の14クラスで構成される（変更の可能性あり）。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション（受講生の自己紹介を含む） ② 都市・地域計画に関する知識の習得（1） ③ 都市・地域計画に関する知識の習得（2） ④ 都市・地域計画に関する知識の習得（3） ⑤ 都市・地域計画に関する知識の習得（4） ⑥ 都市・地域計画に関する知識の習得（5） ⑦ 都市・地域に関する調査・分析手法の習得（1） ⑧ 都市・地域に関する調査・分析手法の習得（2） ⑨ 都市・地域に関する調査・分析手法の習得（3） ⑩ グループによる都市・地域に関する演習・発表（1） ⑪ グループによる都市・地域に関する演習・発表（2） ⑫ 個人による都市・地域に関する演習・発表（1） ⑬ 個人による都市・地域に関する演習・発表（2） ⑭ 個人による都市・地域に関する演習・発表（3）／コースのまとめ
授業外学習（予習復習）の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	<p>テキストのまとめの発表、グループや個人による発表の準備のために、毎週4～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。</p> 
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> ① 毎回の授業への取り組み具合・貢献度合い（50％）（1-c） ② グループによる演習・発表（25％）（2-b） ③ 個人による演習・発表（25％）（2-b）

<p>多文化協働学修の実践方法 Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>受講生の興味や関心の相違性や共通性を活かしながら、専門的な知識・技能の習得やポータブルスキルの向上に向けて、受講生がお互いを尊重しつつ相互研鑽・自己研鑽できる環境づくりを目指します。</p> 
<p>授業担当教員の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>東京大学土木工学科卒。東京大学大学院社会基盤工学専攻修士課程、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）大学院理学修士（アドバンスド・アーキテクチュラル・スタディーズ）課程（Distinction 授与）、ロンドン大学 UCL 大学院建築学修士（建築デザイン）課程修了。その後、建設コンサルタント会社にて、海外・国内の都市・地域計画関連業務（JICAあるいはJETRO 発注業務、国内行政機関発注業務など）に従事。その後、再度渡英し、2018 年ロンドン大学 UCL 大学院博士（都市・地域計画）課程修了。立命館大学衣笠総合研究機構（歴史都市防災研究所）の客員研究員・専門研究員を経て、2022 年APU 着任。2020 年 4 月～ 9 月、龍谷大学国際学部にて非常勤講師として「都市計画論」を担当。2021 年 11 月～ 2022 年 1 月、Chercheur invitéとしてUMR 8504 Géographie cités（フランス国立科学研究センター、パリ第 1 パンテオン・ソルボンヌ大学、パリ・シテ大学（2022年パリ大学から改称）、社会科学高等研究院による共同研究ユニット）に滞在。また、2022 年 8 月～ 9 月、University Guest（Academic）としてメルボルン大学に滞在。2023 年 2月～、UCL（Bartlett School of Planning, Faculty of the Built Environment）の Honorary Research Fellow。職業資格として、Chartered Town Planner（MRTPI）（英国 王立都市計画協会 公認都市計画家）、技術士（建設部門：都市及び地方計画）、再開発プランナー、宅地建物取引士、管理業務主任者、不動産賃貸経営管理士、アフィリエイトテッド・ファイナンシャル・プランナー（AFP）など。</p>

<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>テキストは、小嶋勝衛・横内憲久（監修）『都市の計画と設計 第3版』（2017・共立出版）を使用します。テキスト・参考文献以外の関連資料などは、適宜提示します。</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>参考文献は、主に、宇都宮浄人・多田実（編著）『まちづくりの統計学：政策づくりのためのデータの見方・使い方』（2022・学芸出版社）、東京都の「都市づくりのグランドデザイン」を使用します。「都市づくりのグランドデザイン」は、下記のWebサイトからダウンロード可能です。</p> <p>https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/keikaku_chousa_singikai/grand_design.html</p>
<p>学生への要望 事項 Requirement s for Students</p>	<p>進路として、行政機関や国際機関、民間企業、NPO/NGOなどで都市・地域の政策・計画・開発やまちづくりの分野での従事、あるいはその関連分野での海外・国内の大学院への進学を想定しているなか、「地域づくり」のコンセントレーションの科目のうち、少なくとも一つを受講していることが望ましい。</p> <div data-bbox="541 954 1478 1481" data-label="Image"> </div>

四本ゼミ

観光と社会

観光現象を社会学的視点
から理解する

教員名 Instructor	四本幸夫
曜日・時限 Day, Period	木曜日・5 限
開講言語 Language	日本語
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（木曜日4 限 BII-383） 事前にメールで予約を取ってください。yotsumot@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	<p>コンセントレーション： 地域づくり、観光学、環境学、国際開発</p> <p>キーワード： 持続可能な地域社会、少数民族観光、貧困と観光、地域開発、観光まち づくり、サステイナブルツーリズム、エコツーリズム、農村開発と観光、 観光と権力、オーバーツーリズム、観光社会学、観光と移住</p>
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1 年次に「社会調査法入門」、2 年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3 年次に「専門演習」、4 年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。

受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、各自の研究課題を設定していく。本ゼミでは社会と観光という幅広い範囲の中で、各自関心のある研究テーマを設定していく。

学生それぞれの研究テーマについて発表を行い、それについてゼミ生全員で議論していく。また、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）の修得に向けて設計された科目である。

1-c.持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2-a.論理的・批判的に思考することができる。

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記の理解を深めることを目標とする

1-c.持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

持続可能な社会の概念を理解する
サステイナブルツーリズムの概念を理解する
観光の社会に及ぼす良い面と悪い面を理解する

2-a.論理的・批判的に思考することができる。

観光に内在する権力について理解する
社会指標や観光統計を正確に理解する
発表や文献を理解し批評できる

授業方法 Teaching Methods	前半は共通の基本文献、各自の研究テーマの文献について順番にその内容を発表し議論する。後半は、各自の研究の発表をし、質疑応答をする。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	① オリエンテーション、受講生自己紹介など ② 基本文献発表、ディスカッション ③ 基本文献発表、ディスカッション ④ 基本文献発表、ディスカッション ⑤ 各自のテーマ文献発表、ディスカッション ⑥ 各自のテーマ文献発表、ディスカッション ⑦ 各自のテーマ文献発表、ディスカッション ⑧ 各自のテーマ文献発表、ディスカッション ⑨ 各自のテーマ文献発表、ディスカッション ⑩ 最終成果発表にかかわる準備 ⑪ 最終成果発表 ⑫ 最終成果発表 ⑬ 最終成果発表 ⑭ 最終成果発表
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	自分にとって参考となる最良の文献（書籍）を授業時間外に講読してください。さらに、復習および発表準備のために毎週4～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（60%） (1-c) ② 最終成果物の完成度（40%） (2-a)

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。</p>
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>安村克己他（2011）『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房</p>

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- インターネット、雑誌、新聞、テレビ等で様々な社会とかかわる観光現象に興味を持つように心がけてください。
- 欠席する場合は必ず事前連絡を入れて下さい。
- 発表や最終成果は必ず事前に誤字脱字のチェックを行ってください。
- 剽窃をしないように、引用のルールなどをしっかりと理解しておいてください。



木村ゼミ

木曜日4限（予定；変更の可能性あり）



■ コンセントレーション

- 地域づくり
- 国際開発
- 社会起業

■ キーワード

- コミュニティ開発
- NGO
- 社会的企業
- 教育

■ 教員の研究情報

- カンボジアの社会的企業・NGO、及び大学での教授法を研究しています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001483>

■ 主な担当授業

- コミュニティ開発論
- 開発社会学人類学
- 東峰村フィールドスタディ
- Community Development (大学院)

■ ゼミの紹介

当ゼミでは、参加型開発の手法などを軸に、コミュニティ開発の理論的及び実践的な側面を探究します。グループワークを通してお互いに学び合い、ワークショップを通して経験的に学ぶことを重視しています。

教員名 Instructor	木村力央 KIMURA Rikio
曜日・時限 Day, Period	木曜・4限（予定；変更の可能性あり） Thur., 4 th (Planned, but may be changed)
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	アポを取るために、メールしてください。 rkimura@apu.ac.jp Please e-mail me to make an appointment: rkimura@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	<p>コンセントレーション： 地域づくり、国際開発、社会起業 キーワード： コミュニティ開発、NGO、社会的企業、カンボジア、教育</p> <p>Concentrations: Regional Development, International Development, Social Entrepreneurship Keywords: Community Development, NGO, Social Business, Cambodia, Education</p>
履修の目安 Recommend ed Qualificati on s / Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	当ゼミでは、参加型開発の手法などを軸に、コミュニティ開発の理論的及び実践的な側面を探究します。グループワークを通してお互いに学び合い、ワークショップを通して経験的に学ぶことを重視しています。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>○5セメスター目 第一Qは、参加型開発に関する文献を読み込み、プレゼンを行い、議論のリードをする。またワークショップを通して参加型開発を理解する。第二Qは、地域づくりの手法を経験する。</p> <p>○6セメスター目 個々の学生が卒論の前準備としての研究提案書の作成に着手する。特に先行研究の問題点を見つけ出し、それに基づいて研究の問い (Research Questions)を立てる。そして研究提案書のプレゼンテーションをする。</p> <p>○7, 8セメスター目 個人で卒業研究にとりかかる。7セメ目は文献研究や調査手法作成などの下準備を行い、夏休み等に各自のテーマ・フィールドで調査を行う。文献研究だけで卒論を書く学生は、この時期に文献研究をさらに進める。8セメ目に卒業論文を完成させ、最終発表を行う。</p>
授業外学習 (予習復習) の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation ・・・)	発表準備のために毎週1～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い (50%) (1-c)</p> <p>② 成果物 (文献のプレゼン及び地域づくり案) の完成度 (50%) (2-b)</p>

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia	カンボジアで NGO を通して、コミュニティ開発に10年間関わった。また、米国の大学院で、コミュニティ開発及び組織リーダーシップ、またイギリスの大学院で教育学（成人学習）を学んだ。理論と実践を融合する学問的実務家を目指している。
テキスト備考 Textbook Notes	テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。
参考文献 Further Reading	<ul style="list-style-type: none"> サミュエル・ヒッキイ、ジャイルズ・モハン編、2008年、『変容する参加型開発「専制」を超えて』明石書店 三好皓一編、2017年、『地域資源とコミュニティ・デザイン』晃洋書房

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- 毎回の授業にノートPCの持参は必修です。
- 「開発社会学・人類学」を受講していることが望ましい。
- 演習への積極的な参加
- グループで調査を進めるためのチーム・ワーク。
- 個人で調査を進める粘り強さ。
- 実地調査の交通費などが自己負担となることを明記しておく。

上原ゼミ★



木曜日6限（暫定）

※25秋セメは在外研究のため開講しません

■ コンセントレーション

- ※ 社会企業
- ※ 地域づくり



■ 教員の研究情報

社会課題の1つである難民・避難民問題について最近では調査しています

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001537>



■ キーワード

- ※ ミッション・マネジメント
- ※ ソーシャルアントレプレナー
- ※ 地方創生



■ 主な担当授業

- ※ ソーシャルアントレプレナーシップ
- ※ 経営戦略
- ※ NPO/NGO
- ※ 南阿蘇フィールドスタディ



■ ゼミの紹介

社会問題に対峙し変革するためには何が必要か。そのための具体的な手法について学ぶとともに、実践力を重視したゼミになります。柔軟性や洞察力、新たなものを生み出す創造力、どのような事態にあっても大切なものを手放さず諦めない「しぶとさ」。それらを育み、実際に問題解決に挑戦する学生のみなさんをお待ちしています。

※25年FAは他の先生のゼミを選択してください。



教員名 Instructor	上原優子 UEHARA Yuko
曜日・時限 Day, Period	木曜日・6限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	基本的には火曜日1・2限に実施します（@B314）。 まずメール相談で日時を決定してください。 y-uehara@apu.ac.jp Consultations are available on Tuesdays during 1st or 2nd period. At first, please send e-mail to: y-uehara@apu.ac.jp
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field(Keywords related to lecture content)	コンセントレーション： 社会企業，地域づくり キーワード： ミッション・マネジメント，ソーシャルアントレプレナー，地方創生 Concentrations: Social Entrepreneurship, Regional Development Keywords: Mission Management, Social Entrepreneur, Regional Revitalization
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

(✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

授業方法 Teaching Methods	教員の指導のもと、受講生はプロジェクトにグループで取り組み、プロジェクト達成のために必要な資金調達、広報、ボランティアマネジメント、説明責任などについて実践的に学びます。また学生は成果について授業で全体に共有し、フィードバックを行います。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<ul style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション ② 他己紹介 ③ 経営・プロジェクトの企画の基礎的理論を指導 ④ トピックの抽出と現状分析① ⑤ トピックの抽出と現状分析② ⑥ 企画書の作成① ⑦ 企画書の作成② ⑧ 中間発表 ⑨ 企画書の作成③ ⑩ 企画書の作成④ ⑪ アクションプランと実行① ⑫ アクションプランと実行② ⑬ 振り返りと評価 ⑭ 最終成果発表
授業外学習 (予習復習) の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	プロジェクト実施について必要な文献（書籍）を授業時間外に熟読してください。また、適宜学生間でのグループミーティングが必要になるため、各グループで調整の上実施することになります。さらに、中間発表および最終成果発表のためにも授業時間外学習が必要になります。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業への取り組み度合い・貢献度合い・ピアレビュー（50%） ② 最終成果物（プロジェクトごとの成果）の完成度（50%）

<p>多文化協働学修の実践方法</p> <p>Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、互いに意見を交換しあうことができる安心感ある環境づくりを目指します。</p>
<p>授業担当教員の実務経験</p> <p>Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>学歴：慶應義塾大学経済学部卒。青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科修士・博士課程修了。</p> <p>職歴等：日本長期信用銀行，朝日アーサー・アンダーセン，HSBC証券会社を経て現職。米国公認会計士。社会的課題に対し革新的進歩をもたらす活動への参加はライフワークとなっている。現在もさまざまなNGO/NPO，社会的企業等において，理事・監事等を務めている。</p>
<p>テキスト備考</p> <p>Textbook Notes</p>	<p>指定したテキストはありません。教員が必要に応じて教材を提供します。</p>
<p>参考文献</p> <p>Further Reading</p>	<p>チェンジメーカー～社会起業家が世の中を変える (2005) 渡邊 奈々 日経BP社 経営理念浸透のメカニズム (2016) 田中雅子 中央経済社</p>

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- 毎回の授業にPCは必ず持参してください。
- 「ソーシャルアントレプレナーシップ」「NPO/NGO」「会計入門」を受講していることが望ましい。

参考までに過去のゼミ生の活動（2022年度～2024年前半）について紹介します。ゼミの様子を把握しておいてください。

<AY2024（春セメ）>

- 卒業生を中心に実施した立命館東京オフィスにおける難民写真展に参加し、協働する（8月）また、東京滞在中に、ウクライナ支援に関わる団体（日本財団、パスウェーズジャパン、こころのケアセンター）を訪問調査した。
- 別府美術館における難民写真展を開催（8月）
- 別府ゆめタウンにおける難民写真展の開催（5月）
- 活動実施のための資金調達として、4月～7月にかけて国際観光港におけるフリマを実施。別府市民の方々との交流を促進。

<AY2023>

- 卒業生を中心とした東京での難民写真展の開催に参加し、協働する。
- ウクライナ避難民学生との東京における調査研究や天空祭（学園祭）での活動等を実施。
- オンラインイベントおよび別府での難民写真展を実施した。これらの活動費の調達のために、クラウドファンディング等にも挑戦した。

参考：

2023年度 難民写真展 & 講演会

(<https://www.youtube.com/watch?v=by4F-YHjZ3g&t=3s>)

2023年度 難民写真展にむけて

(<https://www.youtube.com/watch?v=MVkoH6VQ2A8&t=8s>)

2023年度 クラウドファンディングー志の表明

(<https://www.youtube.com/watch?v=SrDxxfOPiPM&t=3s>)

学生への要望
事項
Requirements for
Students

- <AY2022>
- ロシアがウクライナに侵攻，募金活動により約70万円をウクライナ避難民に寄付。
 - 株式会社リコーの社会貢献クラブFreeWillに評価され30万円が贈呈された。これにより東京調査研究を実施。
 - 東京での調査による知見を基にNPO法人Beautiful World，獨協大学学生団体PIRと協働し講演会および難民写真展を開催。
- 参考：
- 2022年度 上原ゼミ春合宿
(<https://www.youtube.com/watch?v=yo3hhNyUxkA>) 2022
年度 難民写真展&講演会
(<https://www.youtube.com/watch?v=lseFrV6xqjw&t=14s>)

狩野ゼミ

木曜日4限（暫定）日本語開講



■ コンセントレーション

- データサイエンスと情報システム
- 地域づくり
- 社会起業

■ キーワード

- デジタルトランスフォーメーション（DX）
- デジタル田園都市／地方創生
- デザイン思考
- 社会起業

■ 教員の研究情報

- 地域や行政のデジタルトランスフォーメーション（DX）のあり方や進め方について研究しています

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001664>

■ 主な担当授業

- [ニューテクノロジーと未来社会](#)
- [社会科学のための統計学](#)
- [専門実習（地域DX）](#)
- [政策学入門](#)
- [情報処理入門](#)
- [ブリッジプログラム](#)

■ ゼミの紹介

当ゼミの演習では、地域や自治体が抱える公共課題のうち自らが設定したテーマについて、DXを念頭に置きながら、課題の探索・特定及び解決策の導出・具体化を行い、最終的に提言として取りまとめます。また、活動を通じて得られた知見は、卒業論文の作成を見据えて体系的に整理するとともに、意欲と成果に応じて、学会や自治体への発表も検討します。当ゼミの選考にあたっては、将来、公共課題の解決に何らかの形で取り組む意欲を持つ学生を優先します。

教員名 Instructor	狩野英司 KANO Eiji
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（月曜日5限@B-515）に随時受け付けます。 または、メールしてください。kanoeiji@apu.ac.jp Please visit B-506 during the office hour. (Tue, 3 rd) Or, please send e-mail to: kanoeiji@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセンテーション： データサイエンスと情報システム、地域づくり、社会起業 キーワード： デジタルトランスフォーメーション（DX）、デジタル田園都市国家構 想／地方創生、デザイン思考、社会起業 Concentrations: Data Science & Information System, Regional Development, Social Entrepreneurship Keywords: Digital transformation (DX), Digital garden city nation vision/Regional revitalization, Design Thinking, Social entrepreneurship
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」／「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。
（ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する
（ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける
（ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	① 調査分析方法の指導 ② フレームワークを用いた課題解決策導出のファシリテーション ③ 成果の共有とフィードバック
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	以下を基本としつつ、各受講生又はグループの理解度や研究の進捗度に応じて対応していきます。 ①オリエンテーション、受講生自己紹介など ②③テーマの設定 ④⑤課題の探索 ⑥⑦課題の特定 ⑧⑨解決策の導出 ⑩⑪解決策の具体化 ⑫⑬プレゼンテーションの作成 ⑭最終成果発表
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	授業でのフィードバックを踏まえた検討の深堀りや軌道修正、及び発表準備のために毎週4～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。 これに加えて、自らが関心を持つ公共課題に関して、媒体の種類を問わず広くアンテナを張るとともに、地域の現場にもなるべく足を運び、自分なりの現場感覚を深めていただくことを推奨します。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（50％）（1-c） ② 最終成果物（毎回の演習成果の集大成）の完成度（50％）（2-b）

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)	<p>■リサーチャー・コンサルタント（11年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験した業界：シンクタンク ・職務内容：デジタルガバメント、デジタルトランスフォーメーション、ITプロジェクトマネジメント <p>■公務員（12年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験した業界：中央官庁 ・職務内容：行政デジタル化・電子政府、通商交渉、繊維産業政策、流通行政、電力行政、予算編成など
テキスト備考 Textbook Notes	テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。
参考文献 Further Reading	狩野英司（2020）『自治体職員のための入門デジタル技術活用法』ぎょうせい

<p>学生への要望 事項 Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none">• 毎回の授業にノートPCの持参は必修です。• 「ニューテクノロジーと未来社会」「専門実習（地域DX）」を受講していることが望ましい。• 下記のサイトに掲載されている事例の中から関心のあるキーワードに関わる事例に目を通し、自分の今後の研究テーマをイメージしておいてください。<ul style="list-style-type: none">➤ 地域社会のデジタル化に係る参考事例集（総務省） https://www.soumu.go.jp/main_content/000949882.pdf➤ Digi田（デジでん）甲子園2023 受賞結果（内閣官房） https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/koshien/kekka/2023/index.html➤ 統計データ利活用事例集（総務省） https://www.stat.go.jp/dstart/case/download.html
--	---

Kazem Seminar (Kazemi)

Thursday 5th period (provisional)



■ Concentrations

- Tourism Studies
- Regional Development
- Social Entrepreneurship
- Environmental Studies

■ Research Interest

- Linking global and local initiatives in revitalization of local communities through tourism

- Visit here for more information:
<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001505&Language=2>
- Visit here for my monthly webinar series:
www.scotwebinars.org

■ Introduction of the seminar

In this seminar, students will apply theoretical studies in the field of tourism development and local revitalization in rural and urban environments. By visiting local communities and regional areas, students will practice resource assessment and planning for tourism based and sustainable development. We utilize international initiatives from UN Tourism (BTV) and UNFAO (GIAHS) as case studies in our field works.

■ Keywords

- Sustainable Tourism
- Heritage Tourism
- Rural Tourism
- UN Tourism/UNFAO

■ Current Courses

- Rural Tourism
- Community-based Tourism (Graduate and undergraduate)
- Practicum (Community-based learning)
- Italy/Spain/Portugal FS
- Ishikawa/Noto FS



カゼムゼミ

木曜日5限 (暫定)



■ コンセンテーション

- ・ 観光学
- ・ 地域づくり
- ・ 社会起業
- ・ 環境学

■ 教員の研究情報

- ・ 観光を通じた地域コミュニティの活性化におけるグローバル及びローカルな取り組みの連携

- 研究情報の詳細:
<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001505&Language=2>
- 月例ウェビナーシリーズの詳細:
www.scotwebinars.org

■ ゼミの紹介

当ゼミでは、農村や都市環境における観光開発及び地域活性化の分野における理論的研究を応用します。地域を訪問することで、観光をベースとした持続可能な開発のための資源評価やプランニングを実践します。UN Tourism(BTV)やUNFAO(GIAHS)の国際的な取り組みをケーススタディとして活用します。

■ キーワード

- ・ サステナブルツーリズム
- ・ 遺産観光
- ・ 農村観光
- ・ UN Tourism/UNFAO

■ 主な担当授業

- ・ 農村観光
- ・ コミュニティベースツーリズム (学部生・院生)
- ・ 専門実習
- ・ イタリア/スペイン/ポルトガル FS
- ・ 石川/能登 FS



教員名 Instructor	VAFADARI M Kazem
曜日・時限 Day, Period	木曜日・5限 Thu, 5 th
開講言語 Language	E/J
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	メールしてください。 kazem@apu.ac.jp Please e-mail: kazem@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	<p>コンセントレーション： 観光学、地域づくり、社会起業、環境学 キーワード： サステナブルツーリズム、遺産観光、農村観光、UN Tourism/UNFAO</p> <p>Concentrations: Tourism Studies, Regional Development, Social Entrepreneurship, Environmental Studies Keywords: Sustainable Tourism, Heritage Tourism, Rural Tourism, UN Tourism/UNFAO</p>
履修の目安 Recommended Qualification s / Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する

（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

（ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。

（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

（ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。

（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。

（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。

（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

（ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。

（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

(✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

授業方法 Teaching Methods	Lectures with panel discussions, PPT presentations or video /audio materials. Support and supervision of students' research progress. Linking theory and practice in sustainable tourism studies.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	① Orientation / self introduction / share individual research topics ② Rural tourism environments ③ Urban tourism environments ④ Introduction to Global Code of Ethics for Tourism ⑤ Research methodology ⑥ Developing research design/plan ⑦ Midterm presentation of individual research design/plan ⑧ Student-led discussion on research progress/designs ⑨ Student-led discussion on research progress/designs ⑩ Student-led discussion on research progress/designs ⑪ Student-led discussion on research progress/designs ⑫ Student-led discussion on research progress/designs ⑬ Student-led discussion on research progress/designs ⑭ Final presentation
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	You are expected to spend weekly 4-5 hours in average for theoretical aspects of your research (reviewing class materials and preparing for discussions/presentations) and receiving feedback from others' perspectives. You are expected to plan allocating realistic time frame for practical aspects of your research and share your schedule in Week 1.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	① Research activity (10%) ② Knowledge sharing/facilitation of discussions (10%) ③ Peer learning (10%) ④ Midterm presentation (20%) ⑤ Final presentation (15%) ⑥ Final report (35%)

授業方法 Teaching Methods	<p>パネルディスカッション、PPTプレゼンテーション、ビデオ/オーディオ資料を活用した講義の実施。学生の研究進捗のサポートを実施。サステナブルツーリズムにおける理論と実践をリンクした学習の推進。</p>
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>① オリエンテーション・自己紹介・各自研究分野の共有</p> <p>② 農村観光の環境について</p> <p>③ 都市観光の環境について</p> <p>④ 世界観光倫理憲章について</p> <p>⑤ 研究方法論について</p> <p>⑥ リサーチデザイン・プランの構想</p> <p>⑦ 中間発表（各自構想したリサーチデザイン・プランについて）</p> <p>⑧ 学生主導のディスカッション（研究進捗・リサーチデザイン）</p> <p>⑨ 学生主導のディスカッション（研究進捗・リサーチデザイン）</p> <p>⑩ 学生主導のディスカッション（研究進捗・リサーチデザイン）</p> <p>⑪ 学生主導のディスカッション（研究進捗・リサーチデザイン）</p> <p>⑫ 学生主導のディスカッション（研究進捗・リサーチデザイン）</p> <p>⑬ 学生主導のディスカッション（研究進捗・リサーチデザイン）</p> <p>⑭ 最終成果発表</p>
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	<p>研究の理論的側面（復習やディスカッション・発表に向けた準備）や他者の視点からのフィードバックを受ける等毎週4～5時間程度の学習が求められます。研究の実践的な側面については、各自時間配分を計画し、初回の授業でスケジュールを共有してください。</p>
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>① 研究活動（10%）</p> <p>② 知識の共有・ディスカッションの推進（10%）</p> <p>③ ピアラーニング（10%）</p> <p>④ 中間発表（20%）</p> <p>⑤ 最終成果発表（15%）</p> <p>⑥ 最終レポート（35%）</p>

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	Consultation for selection of seminars are designed so that the supervisor collects individual backgrounds and designs collaborative activities that students can share their values and knowledge within class and in practical research.
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)	<ul style="list-style-type: none"> -Advisory board, UNWTO. QUEST certification program -Member, Scientific committee: Globally Important Agricultural Heritage Systems (GIAHS), FAO -SATOYAMA Activity & Nature School of Kanazawa University -Advisor , Oita prefecture for the Globally Important Agricultural Heritage Systems (GIAHS) and revitalization -Advisor for tourism affairs, embassy of Iran in Japan -Curator, SCoT Webinar series (www.scotwebinars.org)
テキスト備考 Textbook Notes	There are no specified textbooks, however reading materials will be distributed throughout the course.
参考文献 Further Reading	<p>Gocer, O., Boyacioglu, D., Karahan, E. E., & Shrestha, P. (2024). Cultural tourism and rural community resilience: A Framework and its Application. Journal of Rural Studies, 107, 103238. https://doi.org/10.1016/j.jrurstud.2024.103238</p> <p>佐藤誠 (2004) 魅せる農村景観～デザイン手法と観光活用へのヒント. ぎょうせい</p>

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>ゼミ選択相談は、教員が各学生の背景を把握し学生が授業や研究の中で価値観や知識を共有できるような共同活動をデザインするように設計されている。</p>
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>-UN Tourism.QUEST 認証プログラム 顧問委員会メンバー -FAO 世界農業遺産（GIAHS）科学委員会メンバー -金沢大学SATOYAMA 活動と自然の学校 -大分県世界農業遺産（GIAHS）・活性化アドバイザー -在日イラン大使館 観光アドバイザー -SCoT ウェビナーシリーズ (www.scotwebinars.org) キュレーター</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>Gocer, O., Boyacioglu, D., Karahan, E. E., & Shrestha, P. (2024). Cultural tourism and rural community resilience: A Framework and its Application. Journal of Rural Studies, 107, 103238. https://doi.org/10.1016/j.jrurstud.2024.103238</p> <p>佐藤誠 (2004) 魅せる農村景観～デザイン手法と観光活用へのヒント. ぎょうせい</p>

<p>学生への要望 事項 Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none">• Students should bring their personal computers, notebooks and pens• Students should have relevant readings related to rural development, sustainable tourism, agricultural tourism and heritage tourism• Students should be interested in working with local communities to develop community-based tourism activities• Interests in activity design, program development and relevant work on creating value-adding system for local product in relation to tourism• Willingness to work in group and peer learning activities and participation in local initiatives on community development• Willingness to work and respect culture and mutual understanding with local communities and promote learnings to international society• Willingness to learn about latest initiatives of UN Tourism (Best Tourism Villages and QUEST)
--	--

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- 毎回の授業にノートPC、ノートとペンは必須です。
- 農村開発、サステナブルツーリズム、農業観光、遺産観光に関する文献を熟読しておいてください。
- 下記に関心のある学生を歓迎します。
- 地域コミュニティと協力し、地域主導の観光を展開することに関心を持つ学生
- アクティビティデザイン、プログラム開発及び観光に関連した地域産品の付加価値創造に関心を持つ学生
- グループ学習やピアラーニング活動に意欲的に取り組み、地域開発に関する地域の取り組みへの参加意欲が高い学生
- 地域コミュニティとの相互理解や文化を尊重し、学習をグローバルな視点へと展開する意欲も持つ学生
- UN Tourismの最新の取り組みについて学ぶ意欲を持つ学生 (Best Tourism Villages ・ QUEST)

笛吹ゼミ



キーワード

動物と観光
多種多様な生物の持続可能性
野生動物保護
環境教育
人間と人間以外の動物の関係

担当科目

サステイナブル・ツーリズム
スペシャル・インタレスト・
ツーリズム
ワイルドライフ・ツーリズム
(専門実習)
生物多様性
文献購読 I & II

研究の関心



ワイルドライフ・ツーリズムを含む自然観光について、幅広い関心を持っています。マルチスピーシーズという視点から多種多様なアクターの関係性を捉えサステイナブルな観光のあり方を研究しています。

コンセントレーション

観光学
環境学
地域開発

ワイルドライフ・ツーリズムを含む自然観光は、資源が乏しい地域に発展の機会を提供すると同時に、自然資源の保全に貢献する可能性を秘めています。しかし、それを実現するためには、人間以外の生物を含む全てのステークホルダーのニーズを考慮した計画的なマネジメントが必要不可欠です。当ゼミでは、観光客の経験や意識、観光における動物倫理に関する問題、自然資源を利用した地域活性化など、自然を資源とした観光に関連する様々なトピックを取り上げます。当ゼミの選考にあたっては、自然観光に関するテーマで卒業論文の執筆を希望する学生を優先します。特に観光地における自然保護、動物倫理、人間と動物の関わり等に関心のある学生は、是非、事前にご相談ください。



笛吹理絵 Ph.D.
Office: J312
rieusui@apu.ac.jp



USUI SEMINAR

KEYWORDS

ANIMALS & TOURISM
MULTISPECIES
SUSTAINABILITY
WILDLIFE CONSERVATION
ENVIRONMENTAL
EDUCATION
HUMAN & NHA
INTERACTIONS

COURSES TAUGHT

SUSTAINABLE TOURISM
SPECIAL INTEREST
TOURISM
WILDLIFE TOURISM
(PRACTICUM)
BIODIVERSITY
CRITICAL READING I & II

RESEARCH INTERESTS

I have a wide range of interests pertaining to nature-based tourism, including wildlife tourism. My approach to the research inquiry is influenced by a more-than-human perspective.

CONCENTRATIONS

TOURISM STUDIES
ENVIRONMENTAL STUDIES
REGIONAL DEVELOPMENT

Wildlife tourism has the potential to contribute to natural resource conservation while giving opportunities for local communities with limited resources to develop. However, achieving this requires well-planned management strategies that consider the needs of all stakeholders, including non-human others. This seminar explores various topics related to nature-based tourism including, but are not limited to, tourist experiences and perceptions, animal ethics in tourism, and community revitalization. Priority for this seminar will be given to students aspiring to write a graduation thesis on related topics. Those interested in nature conservation, animal ethics, and human-animal interactions are welcome to join! I am open to consultation upon request.



Rie Usui, Ph.D.
Office: J312
rieusui@apu.ac.jp

教員名 Instructor	笛吹 理絵 USUI Rie
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限 Thu, 4th period
開講言語 Language	日本語・英語 Japanese・English
ゼミ選択相談 Consultation for Selection of Seminar	<p>①オフィスアワー（火曜5限）：事前連絡不要 ②リサーチアワー（金曜1限）：RA (リサーチアシスタント)が研究補助を行っています。見学可。 研究室：J312 メール（rieusui@apu.ac.jp）でも対応します。 ＊ゼミへの参加を希望する人は、秋セメ中に必ず一度は相談に来てください。 ①Office hour (Tue, 5th period): No appointment necessary ②Research hour (Fri, 1st period): You can come observe research assistants help research projects. Office location: J312 You can also email me at rieusui@apu.ac.jp *If you would like to join the seminar, please consult with me at least once during the fall semester.</p>
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field (Keywords related to lecture content)	<p>コンセントレーション：環境学、観光学、地域開発 キーワード：動物と観光、多種多様な生物の持続可能性、野生動物保護、環境教育、人間と人間以外の動物の関係 Concentrations: Environmental Studies, Tourism Studies, Regional Development Keywords: Animals and Tourism, Multispecies Sustainability, Wildlife Conservation, Environmental Education, Human and Non-Human Animal Interactions</p>

履修の目安 Recommended Qualifications/Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読Ⅰ」、「文献講読Ⅱ」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>
授業概要 Course Overview	<p>本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目(卒業プロジェクト/キャップストーン)に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目(卒業プロジェクト/キャップストーン)に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。</p> <p>【ラーニング・オブジェクティブとの関係】本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ(LO:学習目標)(✓印)の修得に向けて設計された科目である。</p> <p>1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する ()1-a. 社会と地域について学問横断的に理解することができる。 ()1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている</p>

授業概要（続き）
Course Overview (cont'd)

(✓)1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する ()2-a. 論理的・批判的に思考することができる。(✓)2-b. 定性的、定量的に分析することができる。()2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。

()2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

()3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。

()3-b. 「世界観光倫理憲章 (GCET)」に沿って、行動することができる。

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】 This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

授業概要（続き）
Course Overview (cont'd)

- () 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.
- () 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.
- (✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.
- 2. Acquire problem-solving literacy
- () 2-a. Use critical and logical thinking skills.
- (✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.
- () 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.
- () 2-d. Communicate and collaborate across cultures.
- 3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen
- (✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.
- () 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course Objectives

- ・ 自ら関心のある研究テーマを決定し、先行研究を整理した上でリサーチギャップを発見することができる。
- ・ 明確な研究目的&リサーチクエスチョンを立て、詳細な研究計画書を書くことができる。
- ・ 研究計画に基づき、データ収集を行うことができる。
- ・ Select your own research theme and find a gap in research based on literature review.
- ・ Have clear research objectives and research questions, and write a detailed research plan.
- ・ Conduct data collection according to your research plan.

授業概要（続き）
Course Overview (cont'd)

- () 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.
- () 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.
- (✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.
- 2. Acquire problem-solving literacy
- () 2-a. Use critical and logical thinking skills.
- (✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.
- () 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.
- () 2-d. Communicate and collaborate across cultures.
- 3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen
- (✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.
- () 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course Objectives

- ・ 自ら関心のある研究テーマを決定し、先行研究を整理した上でリサーチギャップを発見することができる。
- ・ 明確な研究目的&リサーチクエスチョンを立て、詳細な研究計画書を書くことができる。
- ・ 研究計画に基づき、データ収集を行うことができる。
- ・ Select your own research theme and find a gap in research based on literature review.
- ・ Have clear research objectives and research questions, and write a detailed research plan.
- ・ Conduct data collection according to your research plan.

授業方法 Teaching Methods	<p>毎週、学生による研究の進捗状況の報告や論文紹介などを行い、相互にフィードバックをしつつ、研究計画を練り直していく。フィールド調査も実施する可能性有り。</p> <p>Students share their research progress every week, receive peer feedback, and refine their research plan. There might be occasional fieldwork.</p>
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<ol style="list-style-type: none">1. ガイダンス・自己紹介 Guidance & Introduction2. 関心のある研究テーマの共有 Share research interests3. 論文紹介Ⅰ Share an academic paper I4. 論文紹介Ⅱ Share an academic paper II5. 論文紹介Ⅲ Share an academic paper III6. 論文紹介Ⅳ Share an academic paper IV7. 論文紹介Ⅴ Share an academic paper V8. 研究計画Ⅰ Research plan I9. 研究計画Ⅱ Research plan II10. 研究計画Ⅲ Research plan III11. 研究計画Ⅳ Research plan IV12. 研究計画Ⅴ Research plan V13. 研究計画Ⅵ Research plan VI14. 研究計画最終発表 Final research plan presentation
授業外学習 (予習復習) の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	<p>毎週、研究の進捗状況を報告してもらうので、授業外で文献を読み進める必要があります。発表の際は、レジュメを準備してくること。</p> <p>You are required to share your research progress every week, so make sure you read academic literature outside the class. Prepare handouts for your presentation.</p>

成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ul style="list-style-type: none">・ 研究計画書 Research proposal (48%)・ 発表 Presentation (10%)・ 授業への貢献度 Contribution (42%)
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<ol style="list-style-type: none">1. ガイダンス・自己紹介 Guidance & Introduction2. 関心のある研究テーマの共有 Share research interests3. 論文紹介Ⅰ Share an academic paperⅠ4. 論文紹介Ⅱ Share an academic paperⅡ5. 論文紹介Ⅲ Share an academic paperⅢ6. 論文紹介Ⅳ Share an academic paperⅣ7. 論文紹介Ⅴ Share an academic paperⅤ8. 研究計画Ⅰ Research planⅠ9. 研究計画Ⅱ Research planⅡ10. 研究計画Ⅲ Research planⅢ11. 研究計画Ⅳ Research planⅣ12. 研究計画Ⅴ Research planⅤ13. 研究計画Ⅵ Research planⅥ14. 研究計画最終発表 Final research plan presentation
授業外学習 (予習復習) の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	<p>毎週、研究の進捗状況を報告してもらうので、授業外で文献を読み進める必要があります。発表の際は、レジュメを準備してくること。</p> <p>You are required to share your research progress every week, so make sure you read academic literature outside the class. Prepare handouts for your presentation.</p>

<p>多文化協働学修の実践方法 Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>学生相互のフィードバックを取り入れ、互いの研究内容に建設的なコメントができるようなゼミにしたいと思います。</p> <p>I will make sure to create an environment where students are encouraged to give constructive comments to each other.</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>特に指定はしませんが、必要な資料はその都度、共有します。</p> <p>There won't be any textbooks, but I will share necessary documents.</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>主要文献 Essential reading materials</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tourism and Animal Ethics by David Fennell • Animals and Tourism by Kevin Markwell • Wildlife Tourism by David Newsome et al. • マルチスピーシーズの民俗誌 • Cohen, E. (2019). Tourism and posthumanism. Tourism Review, 74(3), 416-427. • Repprecht et al. (2020). Multispecies sustainability. Global Sustainability, 3. DOI:10.1017/sus.2020.28
<p>学生への要望 事項 Requirement s for Students</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンは必ず持参してください。You are required to bring an electronic device such as a laptop or a tablet. • Moodleの他にNotionを使用します。We will use Notion and Moodle.

Han Seminar

Thursday 4th period (provisional)



■ Concentrations

- Resource Management
- Environmental Studies
- Regional Development

■ Keywords

- Circular Society
- Low-carbon Society
- Carbon Footprint
- Environmental Policy
- Urban Ecosystem Services

■ Research Interest

The impacts of urbanization on ecosystem services, resource use, and climate change, as well as the ways to improve people's wellbeing.

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001655&Language=2>

■ Teaching Courses

- Resource Management
- Circular Economy
- Environmental Policy
- Climate Change
- Introduction to Environmental Studies

■ Introduction to the Seminar

Students will acquire the knowledge and skills to analyze the impacts of urbanization on ecosystem services, resource use, and climate change. The seminar aims to foster experts who can propose strategies to improve people's wellbeing through sustainable urban development. Lectures will be given by means of literature reading compatible with their interested topic, presentation, and group discussion. Students will be trained and expected to write thesis or reports in the future.

韓ゼミ

木曜日4限（暫定）



■ コンセントレーション

- 資源マネジメント
- 環境学
- 地域づくり

■ キーワード

- 循環型社会
- 低炭素社会
- カーボンフットプリント
- 環境政策
- 都市生態系サービス

■ 教員の研究情報

都市化が生態系サービス、資源利用、気候変動に与える影響、および住民の福祉を向上させる方法に関する研究を行っています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001655>

■ 主な担当授業

- 資源マネジメント
- Circular Economy
- Environmental Policy
- Climate Change
- Introduction to Environmental Studies

■ ゼミの紹介

当ゼミでは、都市化が生態系サービス、資源利用、気候変動に与える影響を客観的に分析する知識とスキルを身につけます。また、持続可能な都市開発を通じて住民の福祉を向上させるための戦略を提言できる人材の育成を目指します。テーマに適合的な文献講読、学生による個人発表、グループ発表、全体での討論、少人数での討論等の方法で講義を行う。ゼミでは学生の討論への参加、プレゼンテーションの実施、レポート作成などが求められる。

教員名 Instructor	韓 驥 HAN Ji
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	英語がメインであるが、必要な時日本語も使う。 Mainly in English. Japanese will also be used when necessary.
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	事前にメール(jhan@apu.ac.jp) でアポイントメントを取ってください。 Please make an appointment by E-mail (jhan@apu.ac.jp)
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセントレーション： 資源マネジメント、環境学、地域づくり キーワード： 循環型社会、低炭素社会、カーボンフットプリント、環境政策、都市生態系サービス Concentrations: Resource Management, Environmental Studies, Regional Development Keywords: Circular Society, Low-carbon Society, Carbon Footprint, Environmental Policy, Urban Ecosystem Services
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

(✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

授業方法 Teaching Methods	文献購読，個人発表，グループ発表，討論等の方法で講義を行う。 Methods include individual presentations, group presentations, and class discussions.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	<p>① オリエンテーション：授業の説明、自己紹介など Orientation: Course explanation of and self-introduction.</p> <p>②～③ 研究方法についての指導 基礎編 Instruction on Research Methods - Fundamentals</p> <p>④～⑦ 研究方法についての指導 応用編 文献購読，各学生からの発表，討論，個別指導 Instruction on Research Methods - Advanced, Literature review, presentations, individual guidance</p> <p>⑧ 7回までのまとめと議論の整理，8回以降の講義の説明 Summary of first 7 sessions, explanation of 8th session onward</p> <p>⑨～⑭ 最終成果物作成のための学生による発表，討論，個別指導等 Student presentations to create a final report, discussions and individual guidance, etc...</p>
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	各自が取り組んでいる論文やレポートを完成させるためには，文献を読み，分析し，調査し続けることが不可欠である．また，個人発表，グループ発表の準備のために，毎日数時間の自宅学習が必要となる。 To complete their individual research papers and reports, it is essential for each student to continue reading, analyzing, and investigating literature. In addition, several hours of self-study at home are necessary every day to prepare for individual and group presentations.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>日常的な授業における取り組み状況（50%） (1-c)</p> <p>最終成果物（50%） (2-b)</p> <p>In-class participation（50%） (1-c)</p> <p>The final outcome（50%） (2-b)</p>

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning	それぞれのクラスで、多文化協働学修を取り入れる。 In each class, multicultural collaboration will be integrated into studies.
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)	講師は、2020年8月から2021年10月まで、中国上海市の都市緑化と景観管理局の副局長を務めていた。環境政策立案、都市廃棄物管理、都市景観計画などを担当していた。多様多彩な経験を受講生と共有することを期待しています。 The course instructor has been working as a vice chief of the Landscaping & City Appearance Administrative Bureau of Shanghai, China from August 2020 to October 2021. He was in charge of environmental policy making, municipal solid waste management, and city landscape planning etc.
テキスト備考 Textbook Notes	テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。 No textbooks will be used. Materials will be provided on a case-by-case basis.
参考文献 Further Reading	<ul style="list-style-type: none"> • Han, J., Chen, W.Q., Zhang, L, Liu, G. (2018) Uncovering the spatiotemporal dynamics of urban infrastructure development: A high spatial resolution material stock and flow analysis. <i>Environmental Science & Technology</i>, 52, 12122-12132. • Han, J., Meng, X., Liang, H.W., Cao, Z., Dong, L., Huang, C. (2018) An improved nightlight-based method for modeling urban CO2 emissions. <i>Environmental Modelling & Software</i>, 107, 307-320. • Han, J., Du, T., Zhang, C., Qian, X. (2018) Correlation analysis of CO2 emissions, material stocks and economic growth nexus: Evidence from Chinese provinces. <i>Journal of Cleaner Production</i>, 180, 395-406. • Han, J., Liang, H.W., Hara, K., Uwasu, M. Dong L. (2018). Quality of life in China's largest city, Shanghai: A 20-year subjective and objective composite assessment. <i>Journal of Cleaner Production</i>, 173, 135-142.

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

時間的な制約もあり、すべての内容をカバーするには、14回の授業だけでは不十分であることは間違いない。学生には、知識の延長として、関連論文、ビデオ、新聞を読むことを勧める。
Due to the time limitation, the 14 classes are definitely not enough to cover all the content. Students are suggested to read related papers, videos, newspapers as extension of the knowledge.

須藤ゼミ

木曜日 6 限

■ コンセントレーション

- 国際開発
- 環境学
- 資源マネジメント
- 地域づくり
- 社会起業

■ 教員の研究情報

- 持続可能な開発のための政策や国際協力政策、環境と金融の関係、グリーン成長理論について研究しています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001559>

■ ゼミの紹介

当ゼミでは、教員が提示する持続可能な開発に関する課題を、グループでテーマやリサーチクエスション、研究仮説を設定し、理論や文献調査、サーベイによる情報収集、データ等エビデンスに基づく分析と検討を重ね、結論を得る研究プロセスに必要なスキルを身につけることを目標としています。テーマに応じて、フィールド調査やゼミ旅行で「現場を知る」ことも大事にしています。将来、様々な分野で社会課題を解決するアカデミック実務家（民間企業、行政）や起業家、研究者の育成を目指します。



■ キーワード

- 持続可能な開発
- 地球環境問題
- 国際協力
- 地域開発/地方創生
- 社会起業

■ 主な担当授業

- [持続可能な開発入門 \(J\)](#)
- [環境政策とガバナンス \(J\)](#)
- [環境経済学 \(J\)](#)
- [気候変動 \(J\)](#)
- [文献購読Ⅰ\(特別クラス\)](#)
- [文献購読Ⅱ \(特別クラス\)](#)
- [フィールドスタディ \(みやま市\)](#)
- [専門実習 \(亀川プロジェクト\)](#)

Prof. SUDO Seminar

Thursday, 6th Period



■ Concentration

- International Development
- Environmental Studies
- Resource Management
- Regional Development
- Social Entrepreneurship

■ Research Interest

- Studies on the sustainable development policy, international cooperation, relation between environment and finance, and Green Growth theory.

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001559&Language=2>

■ Introduction of the Seminar

The aim of this seminar is to develop the skills necessary for the research process, in which students work in groups from setting themes, research questions and research hypotheses based on issues related to sustainable development presented by the instructor, and continue analysis and consideration with theory, literature, and evidence through survey and information collection, to draw their own conclusions. We also emphasize 'getting to know the field' through fieldwork and seminar trips related to the research theme. Our goal is to nurture academic practitioners (in the private sector and government), entrepreneurs and researchers who will solve social issues in various fields in the future.



■ Keywords

- Sustainable Development
- Global Environmental Issues
- International Cooperation
- Regional development and revitalization
- Social Entrepreneurship

■ Current Courses

- [Introduction to Sustainable Development](#)
- [Environmental Policy and Governance](#)
- [Environmental Economics](#)
- [Climate Change](#)
- [Critical Reading I \(Special Class\)](#)
- [Critical Reading II \(Special Class\)](#)
- [Field Study \(Miyama city, Fukuoka\)](#)
- [Practicum \(Kamegawa Project\)](#)

須藤ゼミの2年間

3 回生

<グループ研究>

テーマ決定
グループ形成

関連文献
調査

フィールド調
査 (QB)

最終発表

RQ・研究
仮説設定

データ
収集

分析・考察

グループ
論文提出

- ・ 3 回生ゼミでは、グループを形成し、教員が提供するテーマに基づき、グループでリサーチテーマを設定して研究を進めていきます。
- ・ 最終発表は学会又は一般公開での発表とすることがあります。
- ・ 懸賞論文への応募等積極的な研究活動を推奨しています。

4 回生

<個人研究>

4 回生ゼミは、卒業研究の進捗報告になります。「須藤ゼミでの卒業研究の流れ」をご参照ください。（3 回生ゼミにアドバイザーとして参加することを推奨します）

3、4 回生共通



ゼミ研修旅行



学会発表



ご飯会

2 years at Sudo Seminar

3rd Year

< Group Research >

Theme Decision
Group Formation

Literature
review

Field Research
(QB)

Final
Presentation

Setting RQ and
Research
Hypothesis

Data
collection

Analysis and
investigation

Group Paper
Submission

- In the third-year seminar, students form groups and set research themes as groups based on the themes provided by the instructor.
- The final presentation may be made at an academic conference or open to the public.
- Students are encouraged to conduct active research activities such as applying for essay contests.

4th Year

< Individual Research >

At the fourth-year seminar, students are requested to report progress on graduation research. Please refer to "Process of graduation research at Sudo Seminar". (It is recommended that 4th year students will participate in the 3rd year seminar as an advisor.)

Common activities for 3rd and 4th Year students



Seminar Study Trip



Conference
Presentations



Party

須藤ゼミでの卒業研究の流れ

7セメ

卒業研究テーマ設定

RQ・研究仮説設定

関連文献調査

データ収集

フィールド調査

7セメスターのうちに、論文執筆に必要なデータ収集まで行う。また、論文アウトラインをプレゼンテーション形式にまとめる。

(注：アクティビティ・レポートを卒業成果物とする場合はプロセスが異なることがあります)

必要あれば、休暇期間中にフィールド調査等を実施する。

8セメ

分析・考察

最終発表

卒業論文提出

8セメスターでは、文献やデータに基づく分析・考察作業を進め、論文を完成させる。



「卒論執筆合宿」を行うこともあります。

Process of Graduation research at Sudo Seminar

7th
Semester

Setting theme for
Graduation Research

Setting RQ and
Research Hypothesis

Literature review

Data collection

Field Surveys

During the 7th semester, students will collect the data necessary to write a thesis. In addition, the outline of the thesis is summarized in a presentation format.
(Note: The process may be different if the activity report is a graduation deliverable.)

If necessary, field surveys will be conducted during the vacation period.

8th
Semester

Analysis and
investigation

Final Presentation

**Submission of
graduation thesis**

During the 8th semester, students will conduct an analysis and discussion work based on literature and data, and complete a thesis.



We may also hold a graduation thesis writing camp.

教員名 Instructor	須藤 智徳 SUDO Tomonori
曜日・時限 Day, Period	木曜日・6限 Thursday, 6 th
開講言語 Language	日本語 Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	<p>メールで相談希望日時をご連絡ください。 Please e-mail me to make an appointment for consultation.</p> <p>E-mail address: t-sudo@apu.ac.jp</p>
講義分野（講義内容に関するキーワード Subject Field(Keywords related to lecture content)	<p>コンセントレーション： 国際開発, 環境学, 資源マネジメント, 地域づくり, 社会起業</p> <p>キーワード： 持続可能な開発, 地球環境問題, 国際協力, 地域開発/地方創生, 社会起業</p> <p>Concentrations: International Development, Environmental Studies, Resource Management, Regional Development, Social Entrepreneurship</p> <p>Keywords: Sustainable Development, Global Environmental Issues, International Cooperation, Regional development and revitalization, Social Entrepreneurship</p>
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

(✓) 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

<p>授業方法 Teaching Methods</p>	<p>当ゼミでは、教員が提示する持続可能な開発に関する課題を、グループでテーマやリサーチクエスチョン、研究仮説を設定し、理論や文献調査、サーベイによる情報収集、データ等エビデンスに基づく分析と検討を重ね、結論を得る研究プロセスに必要なスキルを身につけることを目標としています。テーマに応じて、フィールド調査やゼミ旅行で「現場を知る」ことも大事にしています。</p> <p>The aim of this seminar is to develop the skills necessary for the research process, in which students work in groups from setting themes, research questions and research hypotheses based on issues related to sustainable development presented by the instructor, and continue analysis and consideration with theory, literature, and evidence through survey and information collection, to draw their own conclusions.</p> <p>We also emphasize 'getting to know the field' through fieldwork and seminar trips related to the research theme.</p>
<p>毎回の授業の 概要 Overview of Each Class</p>	<p>① オリエンテーション、テーマ説明、グループ形成 ② グループ研究課題設定、リサーチクエスチョン・研究仮説の設定 ③ 研究仮説立証に向けたロジックの形成 ④～⑬ 各グループによる進捗報告、質疑 ⑭ 最終成果発表</p> <p>(外部講師による講演や情報共有が行なわれることもある。またQBにはフィールド調査/ゼミ旅行を予定している。)</p> <p>① Orientation, explanation of theme, group formation ② Setting a group research topic, setting up research questions and research hypotheses ③ Formation of logic for the verification of research hypotheses ④～⑬ Progress reports and questions by each group ⑭ Presentation of final results</p> <p>(Lectures and information sharing session by external lecturers may also be held. In addition, a field survey/seminar trip will be held during QB.)</p>

<p>授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)</p>	<p>ゼミの時間はあくまでグループ研究の進捗報告が中心となります。そのため、授業外でグループによる研究を進めることになります。（4～5時間/週）</p> <p>The seminar time will be spent for report on the progress of group research. Therefore, students will conduct their group research outside of class. (4~5 hours/week)</p>
<p>成績評価方法 Method of Grade Evaluation</p>	<p>① 毎回の授業への参加・貢献 Participation and contribution to the class (50%)</p> <p>② 期末レポート Final Report (50%)</p>
<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>当ゼミでは、教員が提示する持続可能な開発に関する課題を、グループでテーマやリサーチクエスチョン、研究仮説を設定し、研究を進めていくことが求められます。グループで設定したテーマを様々な視点から深掘りし分析していきます。そのため、対象とする国や地域、課題に対する多様な視点に対する理解を深めていくことになります。また、この作業を進めるためには、グループのメンバーと協働し、適切な役割分担を行なったうえで、グループプレゼンテーションを準備することが求められます。</p> <p>In this seminar, students are expected to set themes, research questions, and research hypotheses as a group on issues related to sustainable development presented by instructor, and to proceed with research. Students will dig deeper and analyze the themes set by the group from various perspectives.</p> <p>As a result, students will deepen their understanding of the countries and regions they target, as well as their diverse perspectives on issues.</p> <p>In addition, in order to proceed with this work, it is necessary to work with the group members through appropriate division of labor for preparing a group presentation.</p>

<p>授業担当教員の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>民間金融機関で5年間コーポレートファイナンスや外為業務に従事。その後、約20年間政府系金融機関、政府開発援助機関、国際機関等にて。主に政府開発援助（ODA）に係る円借款審査業務、民間連携、業務企画、国際援助協調（SDGs関連、OECD開発援助委員会対応、気候変動対応）、環境・気候変動関連業務企画、開発研究業務等に従事。現在もOECD開発援助委員会・環境と開発協力ネットワーク（ENVIRONET）副議長を務めている。</p> <p>The Instructor of this seminar worked for 5 years in corporate finance and foreign exchange at a private financial institution. After that, he worked for about 20 years at government-affiliated financial institutions, official development assistance agencies, and international organizations. Mainly engaged in screening of yen loans related to Official Development Assistance (ODA), private sector collaboration, business planning, international aid coordination (SDGs, OECD Development Assistance Committee, climate change negotiation), business planning related to environment and climate change, development research, etc. He continues to serve as Vice-Chair of the OECD Development Assistance Committee and Environment and Development Cooperation Network (ENVIRONET).</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。No textbook is required.</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>グループが設定したテーマに応じ、受講生が自ら必要な文献を検索、選定します。</p> <p>Depending on the theme set by the group, students will search for and select the necessary literatures by themselves.</p>
<p>学生への要望事項 Requirement s for Students</p>	<p>特に要望はありません。ゼミライフを楽しみましょう！</p> <p>There is no specific requirement. Enjoy your seminar life!</p>

山根ゼミ

時間割:月曜日5限



■ コンセントレーション

- ・ 国際開発
- ・ データサイエンスと情報システム
- ・ 環境学

■ キーワード

- ・ 持続可能な開発/SDGs
- ・ サステナブルな行動
- ・ 国際協力
- ・ 開発経済
- ・ 教育開発
- ・ 統計分析・データ分析

■ 教員の研究情報

最近は、サステナブルな行動、開発途上国の教育、国際援助などに関する研究を行っています。

<https://www.apu.ac.jp/~tomomi/>

■ 主な担当授業

- ・ 文献講読I&II
- ・ 持続可能な開発入門(E)
- ・ 開発と経済(U E)
- ・ 開発政策(U E)
- ・ Advanced Data Analysis and Statistics (E 大学院)

■ ゼミの紹介

当ゼミの演習では、学生が自ら選んだ社会課題を社会科学の視点から客観的に分析するための知識と技能を習得します。私の専門分野は上記のキーワードや教員の研究情報で示されている通りですが、幅広いテーマを量的手法で分析し、政策提言を行う能力を育成することを目指しています。必要に応じて日本語での補足説明も行いますが、基本的には英語で進めます。卒業論文やレポートは、日本語と英語のいずれでも提出可能です。

Yamane Seminar

Timetable: Monday 5th



■ Concentrations

- International Development
- Data science and IT
- Environmental Studies

■ Keywords

- Sustainable Development/SDGs
- Sustainable Behavior
- International Cooperation
- Development Economics
- Educational Development
- Statistical Analysis/Data Analysis

■ Research Interest

Recently, my research has focused on sustainable behavior, education in developing countries, and international aid.

<https://www.apu.ac.jp/~tomomi/>

■ Current Courses

- Critical Reading I&II (J)
- Intro to SD([E](#))
- Development and Economics([J](#) [E](#))
- Development Policy([J](#) [E](#))
- Advanced Data Analysis and Statistics ([E](#) GSA)

■ Introduction of the Seminar

In this seminar, students will acquire the knowledge and skills to objectively analyze social issues they have chosen themselves from a social science perspective. Although my areas of expertise are primarily those indicated by the keywords and my research information, students can choose a wide range of topics. The goal is to develop the ability to make informed policy recommendations using quantitative methods. While supplementary explanations can be provided in Japanese, if necessary, the primary language of instruction will be English. Graduation theses and reports can be submitted in either Japanese or English.

教員名 Instructor	山根友美 YAMANE Tomomi
曜日・時限 Day, Period	月曜日・5限 Mon, 5 th
開講言語 Language	英語日本語 English Japanese
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（月曜日5限@B-305）に随時受け付けます。 または、メールしてください。 tomomi@apu.ac.jp Please visit B-305 during the office hour. (Monday, 5th) Or, please send e-mail to: tomomi@apu.ac.jp to make an appointment
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセンテーション： 国際開発、データサイエンスと情報システム、環境学 キーワード： 持続可能な開発/SDGs, サステナブルな行動, 国際協力, 開発経済, 教育開 発, 統計分析・データ分析 Concentrations: International Development, Data science and IT, Environmental Studies Keywords: Sustainable Development/SDGs; Sustainable Behavior; International Cooperation; Development Economics; Educational Development; Statistical Analysis/Data Analysis
履修の目安 Recommend ed Qualificati on s / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。
（ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する
（ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける
（ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	<p>教員による指導のもと、統計データ分析を中心に分析方法を身に着けます。グループワークによる共同発表や個別発表により各自の成果を共有しフィードバックを行います。</p> <p>Under the guidance of instructors, students will learn analytical methods with a focus on statistical data analysis. Through group projects and individual presentations, students will share their findings and receive feedback.</p>
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>第1回 オリエンテーション：授業の進め方・評価方法等についての説明、自己紹介など</p> <p>The 1st session: Orientation - Explanation of course procedures, evaluation methods, and self-introduction, etc.</p> <p>第2回～第3回 研究方法についての指導 基礎編</p> <p>The 2nd~3rd sessions: Instruction on Research Methods - Fundamentals</p> <p>第4回～第7回 研究方法についての指導 応用編 統計分析、各学生からの発表、討論、個別指導</p> <p>The 4th~7th sessions: Instruction on Research Methods - Advanced, Statistical analysis, presentations by each student, discussions, individual guidance</p> <p>第8回 7回までのまとめと議論の整理、8回以降の講義の説明</p> <p>The 8th sessions: Summary of first 7 sessions and discussions, and an explanation of 8th session onward</p> <p>第9回～第14回 最終成果物作成のための学生による発表、討論、個別指導等</p> <p>The 9th~14th sessions: Student presentations to create a final report, discussions and individual guidance, etc...</p>
授業外学習 (予習復習) の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	<p>各自が取り組んでいる論文やレポートを完成させるためには、文献を読み、分析し、調査し続けることが不可欠です。また、個人発表やグループ発表の準備のために、毎週数時間の自宅学習が必要となります。</p> <p>To complete your individual research papers and reports, it is essential for you to continue reading, analyzing, and investigating literature. In addition, several hours of self-study at home are necessary every week to prepare for individual and group presentations.</p>
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い (50%) (1-c)</p> <p>② 最終成果物 (毎回の演習成果の集大成) の完成度 (50%) (2-b)</p> <p>①In-class participation(50%) (1-c)</p> <p>②The final outcome(50%) (2-b)</p>

<p>多文化協働学 修の実践方法</p> <p>Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>様々なバックグラウンドの学生が協働学生出来るように、グループ編成等を工夫します。</p> <p>We will organize groups in a way that allows students from diverse backgrounds to collaborate effectively.</p>
<p>授業担当教員 の実務経験</p> <p>Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	<p>国際協力機構(JICA)、大阪教育大学、広島大学勤務を経て、2022年10月よりAPUに</p> <p>After working at the Japan International Cooperation Agency (JICA), Osaka Kyoiku University, and Hiroshima University, I joined APU in October 2022.</p>
<p>テキスト備考</p> <p>Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。授業ごとに教材を提供します。</p> <p>Textbooks will not be particularly used. Materials will be provided as needed.</p>
<p>参考文献</p> <p>Further Reading</p>	<p>初回の授業で指示します。</p> <p>Instructions will be given in the first class.</p>

学生への要望
事項
Requirement
s for
Students

- 毎回の授業にノートPCの持参は必修です。ノートPCが壊れたり忘れた場合は、貸出PCロッカーを活用してください。
- Bringing a laptop to each class is mandatory. If your laptop is broken or forgotten, please use the loaner PC lockers.

- 必要に応じて日本語での補足説明も行いますが、基本的には英語で進めます。卒業論文やレポートは、日本語と英語のいずれでも提出可能です。
- While supplementary explanations can be provided in Japanese, if necessary, the primary language of instruction will be English. Graduation theses and reports can be submitted in either Japanese or English.

- 今回初めてゼミを開講しますので、皆さんと一緒に作り上げていきたいと思えます。
- Since this is the first time I am offering this seminar, I would like to build it together with all of you.

NISH Seminar



Thursday 5th period (provisional)

■ Concentrations

- Data Science and Information Systems
- Tourism Industry
- Social Entrepreneurship
- Environmental Studies

■ Keywords

- Digital Transformation
- Generative AI
- Learning Management Systems
- NFT and DAO
- Crowdsourcing

■ Research Interest

- Designing of state-of-the-art Internet Mashups for industry
- AI driven support system development for JOB matching and HRD for Japan's JOB market

■ Current Courses

- [Introduction to GISEA](#)
- [Internet Technologies and ApplicationsEA](#)
- [Information LiteracyEA\(OnDemand\)](#)

■ Introduction of the Seminar

In this seminar, students will focus on digital transformation's impact on urban development. We aim to cultivate professionals capable of proposing innovative, sustainable development strategies by integrating cutting-edge technologies like Generative AI and data science. Key areas include AI-driven job matching systems, digital transformation in urban planning and tourism, NFTs and DAOs in urban ecosystems, and crowdsourcing for social entrepreneurship. The seminar covers urban planning, design, tourism development, and environmental conservation. Priority will be given to students eager for mutual learning and committed to writing a thesis contributing to smart, sustainable city development.

教員名 Instructor	Nishantha Giguruwa
曜日・時限 Day, Period	Thu, 5 th
開講言語 Language	English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	Please visit during office hours or send an email to gamagelk@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	Concentrations: <ul style="list-style-type: none"> • Data Science and Information Systems • Tourism Industry • Social Entrepreneurship • Environmental Studies Keywords: <ul style="list-style-type: none"> • Digital Transformation • Generative AI • Learning Management Systems • NFT and DAO • Crowdsourcing
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	This course is a third-year course of the research training which is linked upwards from the 1 st year and 2 nd year courses 1. Internet technology Applications 2. Introduction to GIS

授業概要
Course
Overview

This course aims to further improve the research skills acquired in the second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topics while improving their research and analysis skills, focusing on digital transformation and its applications in urban development and tourism. Through discussions and presentations, students will develop critical and logical thinking skills, while the instructor provides theoretical and methodological guidance on the chosen research topics. Students will refine their research methodologies and begin collecting and analyzing data for their fourth-year final subject.

Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

- 1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism
 - () 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.
 - () 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.
 - () 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.
- 2. Acquire problem-solving literacy
 - () 2-a. Use critical and logical thinking skills.
 - (✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.
 - (✓) 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.
 - () 2-d. Communicate and collaborate across cultures.
- 3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen
 - () 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.
 - () 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

<div>到達目標</div> <div>Course Objectives</div>	<div>The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year:</div> <div><div>1. Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to:</div><div><div>• Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately</div><div>• Explain the concept and applications of target digital technologies</div><div>• Identify system issues and supporting digital technologies</div><div>• Appropriately cite sources</div></div></div>
--	--

授業方法 Teaching Methods	Under the instructor's guidance, students will acquire various data research and analysis methods that form the basis of their research. Group work, joint presentations, and individual presentations will be used to share results and provide feedback.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	1. Orientation and student introductions 2-6. Guidance on digital technologies 7-13. Digital innovation and transformation: Digital technology applications 14. Final presentations
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	Students are expected to read relevant literature outside of class hours. Additionally, 4-5 hours per week of out-of-class study time is necessary for review and presentation preparation.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	① Participation and contribution to each class (30%) ② Class assignments (30%) ③ Final project completion (compilation of seminar results) (40%)

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	The instructor will create an environment where students can complement and stimulate each other, based on understanding the commonalities and differences in each student's expertise and interests in diverse perspectives
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia	Currently Director, Digital innovation and Transformations Center Advisor to APU Venture business cluster GIS consultant to ADPC and ADB
テキスト備考 Textbook Notes	No specific textbook will be used. The instructor will provide materials as needed.
参考文献 Further Reading	Any introductory text regarding <ul style="list-style-type: none"> • Digital Transformation • Generative AI • Learning Management Systems • NFT and DAO • Crowdsourcing

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- Bringing a laptop/tablet to every class is mandatory.
- It is desirable to have taken courses related to data science, Internet Technologies, and AI
- Students are encouraged to explore current trends in digital transformation and its applications in urban development and tourism.

ダハランゼミ

金曜日4限（暫定）

■ コンセントレーション

■ 教員の研究情報

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001434>



セミナーの流れ(3回生・4回生)

第5セメ

- 理論的枠組みと研究方法
- データサイエンス研究の実践演習

第6セメ

- 卒論テーマの決定
- 文献レビュー
- 調査方法の決定

第7セメ

- 卒論の焦点の確定
- データ収集
- データ分析と可視化

第8セメ

- 論文の執筆と提出
- 最終プレゼンテーション

教員名 Instructor	ダハラン ナリマン DAHLAN Nariman
曜日・時限 Day, Period	金曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語・英語 Japanese, English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（火曜日3限@B-315）に随時受け付けます。 または、メールしてください。 dahlan@apu.ac.jp Please visit B-315 during the office hour. (Tue, 3 rd) Or, please send e-mail to: dahlan@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	<p>コンセンテーション： データサイエンス、観光産業、観光学、環境学、社会起業</p> <p>キーワード： データサイエンスとAI、観光データサイエンス、ソーシャルメディア データ活用、ビッグデータ活用、データ可視化・解析</p> <p>Concentrations: Data Science, Tourism Industry, Tourism Studies, Environmental Studies, Social Entrepreneurship</p> <p>Keywords: Sustainable Development, Global Competitiveness, Urban Design, Destination Development, Regional Revitalization</p>
履修の目安 Recommend ed Qualificati on s / Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」と「社会科学のための統計学」、2年次に「文献講読I」と「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" and "Statistics for Social Sciences" in the first year, "Critical Reading I", "Critical Reading II" and "Programming Essentials" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。
（ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する
（ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける
（ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

<div>授業方法</div> <div>Teaching Methods</div>	<div> 教員による指導のもと、受講生は自らの研究の基礎となるさまざまなデータ調査および分析方法を身に着けます。グループワークによる共同発表や個別発表により各自の成果を共有しフィードバックを行います。 </div> <div> Under the guidance of faculty members, students will learn a variety of data research and analysis methods that will serve as the basis of their research. Through joint presentations and individual presentations through group work, each participant will share their results and provide feedback. </div>
<div>毎回の授業の概要</div> <div>Overview of Each Class</div>	<div> ① オリエンテーション、受講生自己紹介など ② プログラムモジュールまたはツール活用にかかわる指導 ③ プログラムモジュールまたはツール活用にかかわる指導 ④ プログラムモジュールまたはツール活用にかかわる指導 ⑤ ソシャルメディアデータ取得、分析方法にかかわる指導 ⑥ ソシャルメディアデータ取得、分析方法にかかわる指導 ⑦ ソシャルメディアデータ取得、分析方法にかかわる指導 ⑧ 受講生が選定したデータの分析演習 ⑨ 受講生が選定したデータの分析演習 ⑩ 受講生が選定したデータの分析演習 ⑪ 受講生が選定したデータの分析演習 ⑫ 受講生が選定したデータの分析演習 ⑬ 受講生が選定したデータの分析演習 ⑭ 最終成果発表 </div>

<p>授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)</p>	<p>自分にとって参考となる最良の文献（書籍）を授業時間外に講読してください。さらに、復習、プログラミング実習、データ分析、データ可視化および発表準備のために毎週4～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。</p> <p>Please read the best literature (books) that you can refer to outside of class hours. In addition, 4~5 hours of after-class study is required every week for review, programming practice, data analysis, data visualization, and presentation preparation.</p>
<p>成績評価方法 Method of Grade Evaluation</p>	<p>① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（50%） (1-c) Commitment and contribution to each class (50%)</p> <p>② 最終成果物（毎回の演習成果の集大成）の完成度（50%） (2-b) Completeness of the final deliverable (the culmination of the results of each exercise) (50%)</p>

<p>多文化協働学修の実践方法</p> <p>Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。</p> <p>We aim to create an environment in which faculty members can understand the commonalities and differences related to each student's expertise and interests, and complement and stimulate each other.</p>
<p>授業担当教員の実務経験</p> <p>Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>情報システムデベロッパー、民間シンクタンク、自治体シンクタンク</p> <p>Information System Developers, Private Think Tanks, and Local Government Think Tanks</p>
<p>テキスト備考</p> <p>Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。</p> <p>It doesn't use any textbook. Instructors will provide teaching materials on a case-by-case basis.</p>
<p>参考文献</p> <p>Further Reading</p>	<p>Python Data Science Handbook: Essential Tools for Working With Data, by Jake Vanderplas , O'Reilly, 2023</p>

<p>学生への要望 事項</p> <p>Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none">「プログラミング入門」と「応用統計解析」を受講していることが望ましい。 It is desirable to have taken "Programming Essentials" and "Applied Statistical Analysis" courses.毎回の授業にノートPCは必修。 Laptops are compulsory in every class.Google Colaboratoryを活用して、プログラミング実習がありますので、Googleアカウントが必要。 There is programming practice using Google Colaboratory, so you need a Google account.
---	--

■ **Keywords:**

- Data Science and AI
- Tourism Data Science
- Social Media Data Utilization
- Utilization of big data
- Data Visualization & Analysis

■ Current Courses:

- Introduction to Information Processing
- Statistics for the Social Sciences
- Applied Statistical Analysis
- Programming
- Special Lectures (ICT)

■ Introduction of the Seminar:

Seminar Flow (3rd year and 4th year)

5th Semester

- Theoretical framework and Research methods
- Practice in data science research

6th Semester

- Determination of thesis topic
- Literature Review
- Research Methodology

7th Semester

- Finalize thesis focus
- Data collection
- Data analysis and visualization

8th Semester

- Writing and submission of thesis
- Final presentation

教員名 Instructor	ダハラン ナリマン DAHLAN Nariman
曜日・時限 Day, Period	金曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語・英語 Japanese, English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（火曜日3限@B-315）に随時受け付けます。 または、メールしてください。 dahlan@apu.ac.jp Please visit B-315 during the office hour. (Tue, 3 rd) Or, please send e-mail to: dahlan@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	Concentrations: Data Science, Tourism Industry, Tourism Studies, Environmental Studies, Social Entrepreneurship Keywords: Sustainable Development, Global Competitiveness, Urban Design, Destination Development, Regional Revitalization
履修の目安 Recommend ed Qualificati on s / Knowledge	This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: “Introduction to Research Methods” and “Statistics for Social Sciences” in the first year, "Critical Reading I“, "Critical Reading II“ in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

<div>授業方法</div> <div>Teaching Methods</div>	<div>Under the guidance of faculty members, students will learn a variety of data research and analysis methods that will serve as the basis of their research. Through joint presentations and individual presentations through group work, each participant will share their results and provide feedback.</div>
<div>毎回の授業の概要</div> <div>Overview of Each Class</div>	<div> <div>(1) Orientation, student self-introduction, etc.</div> <div>(2) Guidance related to the use of program modules or tools</div> <div>(3) Guidance related to the use of program modules or tools</div> <div>(4) Guidance related to the use of program modules or tools</div> <div>(5) Guidance on methods of acquiring and analyzing social media data</div> <div>(6) Guidance on methods for acquiring and analyzing social media data</div> <div>(7) Guidance on methods of acquiring and analyzing social media data</div> <div>(8) Exercise in analyzing data selected by students</div> <div>(9) Exercise in analyzing data selected by the students</div> <div>(10) Exercise in analyzing data selected by students</div> <div>(11) Exercise in analyzing data selected by students</div> <div>(12) Exercise in analyzing data selected by students</div> <div>(13) Exercise in analyzing data selected by students</div> <div>(14) Presentation of final results</div> </div>

<p>授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)</p>	<p>自分にとって参考となる最良の文献（書籍）を授業時間外に講読してください。さらに、復習、プログラミング実習、データ分析、データ可視化および発表準備のために毎週4～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。</p> <p>Please read the best literature (books) that you can refer to outside of class hours. In addition, 4~5 hours of after-class study is required every week for review, programming practice, data analysis, data visualization, and presentation preparation.</p>
<p>成績評価方法 Method of Grade Evaluation</p>	<p>① 毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い（50%） (1-c) Commitment and contribution to each class (50%)</p> <p>② 最終成果物（毎回の演習成果の集大成）の完成度（50%） (2-b) Completeness of the final deliverable (the culmination of the results of each exercise) (50%)</p>

<p>多文化協働学修の実践方法</p> <p>Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。</p> <p>We aim to create an environment in which faculty members can understand the commonalities and differences related to each student's expertise and interests, and complement and stimulate each other.</p>
<p>授業担当教員の実務経験</p> <p>Instructor's professional experience / involvement (outside academia)</p>	<p>情報システムデベロッパー、民間シンクタンク、自治体シンクタンク</p> <p>Information System Developers, Private Think Tanks, and Local Government Think Tanks</p>
<p>テキスト備考</p> <p>Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。</p> <p>It doesn't use any textbook. Instructors will provide teaching materials on a case-by-case basis.</p>
<p>参考文献</p> <p>Further Reading</p>	<p>Python Data Science Handbook: Essential Tools for Working With Data, by Jake Vanderplas , O'Reilly, 2023</p>

<p>学生への要望 事項</p> <p>Requirements for Students</p>	<ul style="list-style-type: none">「プログラミング入門」と「応用統計解析」を受講していることが望ましい。 It is desirable to have taken "Programming Essentials" and "Applied Statistical Analysis" courses.毎回の授業にノートPCは必修。 Laptops are compulsory in every class.Google Colaboratoryを活用して、プログラミング実習がありますので、Googleアカウントが必要。 There is programming practice using Google Colaboratory, so you need a Google account.
---	--

HU Seminar

Thursday 4th period (provisional)



■ Concentrations

- Data Science and Information System
- Regional Development
- Tourism

■ Keywords

- Information System
- Data Science
- Theory and Practice
- AI Applications
- Interdisciplinary Research

■ Research Interest

- Apply state-of-the-art information technologies to address real-world interdisciplinary problems.

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001687&Language=2>

■ Current Courses

- Big Data Analysis
- Introduction to Research Methods
- Critical Reading I&II
- Multicultural Cooperative Workshop (MCW)

■ Introduction of the Seminar

In this seminar, we will explore the application of big data and AI to real-world challenges.

Practical Analysis: Utilize tools for data collection and analysis to gain hands-on experience.

Theoretical Exploration: Focus on designing strategies for AI applications in relevant fields based on data analysis results.

This seminar is designed for students with a strong interest in data and AI and equipped with logical thinking skills. Together, we will explore how emerging AI technologies can help solve problems in diverse areas such as tourism, healthcare, and urban planning.

教員名 Instructor	胡 飛瑜 HU Feiyu
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語、英語 Japanese, English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（木曜日3限@J-313）に随時受け付けます。 または、メールしてください。 hu-feiyu@apu.ac.jp Please visit J-313 during the office hour. (Thu, 3 rd) Or, please send e-mail to: hu-feiyu@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセンテーション： データサイエンスと情報システム、地域づくり、観光学 キーワード： 情報システム、データサイエンス、理論と実践、AI アプリケーション、学 際的研究 Concentrations: Data Science and Information System, Reginal Development, Tourism Studies Keywords: Information System, Data Science, Theory and Practice, AI Applications, Interdisciplinary Research
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	Under the instructor's guidance, students will learn various data investigation and analysis methods for their research. They will share their results and receive feedback through individual presentations.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	(Tentative) Lecture 1: Orientation, student introductions, etc. Lectures 2-6: Instruction on programming fundamentals Lectures 7-9: Instruction on data extraction, analysis, and AI applications Lectures 10-13: Analysis exercises on cities selected by students Lecture 14: Final presentation of results
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	Please read the most useful literature (books) for yourself outside of class time. Additionally, approximately 5 hours of study outside of class per week is necessary for preparation for exercises and presentations.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	1. Engagement in Each Class (28%) (2-b) 2. Data Extraction and Analysis (22%) (2-b) 3. Strategic Design of AI Applications (20%) (1-c) 4. Final Deliverables (30%) (2-b)

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	Through the project, we will deepen mutual understanding and empathy. Regular feedback and reflection will be combined to facilitate learning.
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)	I have built a career in computer science and data science with extensive practical experience both domestically and internationally. I've led research on data science and IT applications at universities in New Zealand, Japan, and China, and worked as a system engineer in geographic information systems and IT in Japan and China. My projects span healthcare, geographic information, elderly support, tourism, and international trade. I hold a PhD in Computer Science, a Master's in Engineering, and a Bachelor's in Management.
テキスト備考 Textbook Notes	The text will not be used specifically. Handouts will be provided during the lecture.
参考文献 Further Reading	Python Tutorial: https://www.learnpython.org/ HTML Tutorial: https://www.w3schools.com/html/

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- Please make sure to bring a laptop and mouse to every class.
- You will be required to search and read papers on the latest applications of AI in sustainability and tourism, and it is recommended that you understand the theoretical and practical advancements in data and AI applications.
- It is important to actively participate in practical exercises, be prepared for significant effort to enhance your individual skills, and engage in self-directed learning.
- Additionally, developing critical thinking skills is essential.

胡 ゼミ

木曜日4限(暫定)



■ コンセントレーション

- データサイエンスと情報システム
- 地域づくり
- 観光学

■ キーワード

- 情報システム
- データサイエンス
- 理論と実践
- AI アプリケーショ
- 学際的研究

■ 教員の研究情報

- 最先端の情報技術を活用して、現実の学際的な問題に取り組みます。
<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001687>

■ 主な担当授業

- ビッグデータ分析
- 社会調査法入門
- 文献講読 I&II
- 多文化協働ワークショップ (MCW)

■ ゼミの紹介

このゼミでは、実世界の課題における **ビッグデータ** と **AI** の応用を探ります。
実践的分析：データ収集および分析のためのツールを活用し、実際の経験を積み
ます。
理論的探求：データ分析の結果に基づき、関連分野におけるAI応用の戦略設計に
焦点を当てます。
このゼミは、データとAIに強い関心を持ち、論理的思考力を備えた学生を対象に
設計されています。共に、新興のAI技術が観光、医療、都市計画などの多様な分
野でどのように問題解決に役立つかを探求していきましょう。

教員名 Instructor	胡 飛瑜 HU Feiyu
曜日・時限 Day, Period	木曜日・4限 Thu, 4 th
開講言語 Language	日本語、英語 Japanese, English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	オフィスアワー（木曜日3限@J-313）に随時受け付けます。 または、メールしてください。 hu-feiyu@apu.ac.jp Please visit J-313 during the office hour. (Thu, 3 rd) Or, please send e-mail to: hu-feiyu@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	コンセンテーション： データサイエンスと情報システム、地域づくり、観光学 キーワード： 情報システム、データサイエンス、理論と実践、AI アプリケーション、学 際的研究 Concentrations: Data Science and Information System, Reginal Development, Tourism Studies Keywords: Information System, Data Science, Theory and Practice, AI Applications, Interdisciplinary Research
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文 献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロ ジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3 年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	教員による指導のもと、受講生は自らの研究の基礎となるさまざまなデータ調査および分析方法を身に着けます。個別発表により各自の成果を共有しフィードバックを行います。
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<p>（暫定）</p> <p>講義1：オリエンテーション、受講生自己紹介など</p> <p>講義2-6：プログラミング基礎にかかわる指導</p> <p>講義7-9：データ抽出分析・AI活用にかかわる指導</p> <p>講義10-13：受講生が選定した都市の分析演習</p> <p>講義14：最終成果発表</p>
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	ご自身にとって最も参考となる文献（書籍）を授業時間外にお読みください。また、演習および発表準備のためには、毎週5時間程度の授業時間外学習が必要です。
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>1. 毎回の授業への取り組み度合い（28%）（2-b）</p> <p>2. データ抽出分析（22%）（2-b）</p> <p>3. AI応用の戦略設計（20%）（1-c）</p> <p>4. 最終成果物（30%）（2-b）</p>

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	プロジェクトを通じて、相互理解と共感を深めます。定期的なフィードバックとリフレクションを組み合わせ、学びを促進します。
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia	コンピュータサイエンスおよびデータサイエンスの分野でキャリアを築き、国内外で豊富な実務経験を有する。ニュージーランド、日本、中国の大学でデータサイエンスや情報技術の応用に関する研究を主導し、日本と中国の企業においては、地理情報システムや情報技術のシステムエンジニアとしても活動してきた。医療・健康、地理情報、高齢者支援、観光・ホスピタリティ、国際貿易など幅広い分野で多様なプロジェクトに携わり、豊富な実績を積んでいる。博士（コンピュータサイエンス）、修士（工学）、学士（管理学）の学位を有する。
テキスト備考 Textbook Notes	テキストは特に使用しません。 講義中に配布資料を提供する。
参考文献 Further Reading	Python入門： https://www.python.jp/train/index.html HTML 入門： https://developer.mozilla.org/ja/docs/Learn/HTML/Introduction_to_HTML Python Tutorial: https://www.learnpython.org/ HTML Tutorial: https://www.w3schools.com/html/

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- 毎回の授業には、ノートPCとマウスを必ず持参してください。
- サステナビリティや観光分野における最新のAI活用に関する論文を読むことが求められ、データおよびAIの応用理論や進展を把握することが推奨されます。
- 積極的に実践的な演習に参加し、個人の能力を向上させるために、相当な努力を覚悟し、自己学習に取り組むことが重要です。
- また、批判的思考力を養うことが大切です。

Current Trends of ESG in Tourism, Hotel and Event Industry

BUI Thanh Huong (Prof. of Tourism and Hospitality Management)

Thursday 5th Period

Concentrations

Tourism Studies
Tourism Industry
Operation
Hospitality Operation

Keywords

Economic, Social & Environmental Impacts
Assessment
Evidence-based decision making
Methods of assessment

Teaching Subjects

Tourism Economics
Event Management
Revenue Management

Research Interest

Tourism Operations
Tourism Impact Assessments
ESG movement tourism and hotel
businesses

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001538&Language=2>

Seminar Introduction

ESG stands for Environment, Society, and Governance, is the current practice of reporting sustainability to attract green investment. The seminar offers insights into the implementation of ESG standards in tourism and hospitality firms. To understand the trends and impacts of the ESG in tourism and hospitality businesses, students will learn methods to collect and process relevant data using Econometrics (using secondary data) and Psychometrics (gathering primary data) tools. Upon completion of the seminar series, students can conduct evidence-based investigations to write their thesis or projects on ESG implementation in tourism, hospitality, and events.

The PICOS framework

P

- Population
- Who is facing the problem or situation to be addressed?

I

- Intervention or Exposure
- How might problems be tackled? What intervention might be used? What exposure (unintentional occurrence) is it?

C

- Comparison (new and existing options)
- What is the alternative?

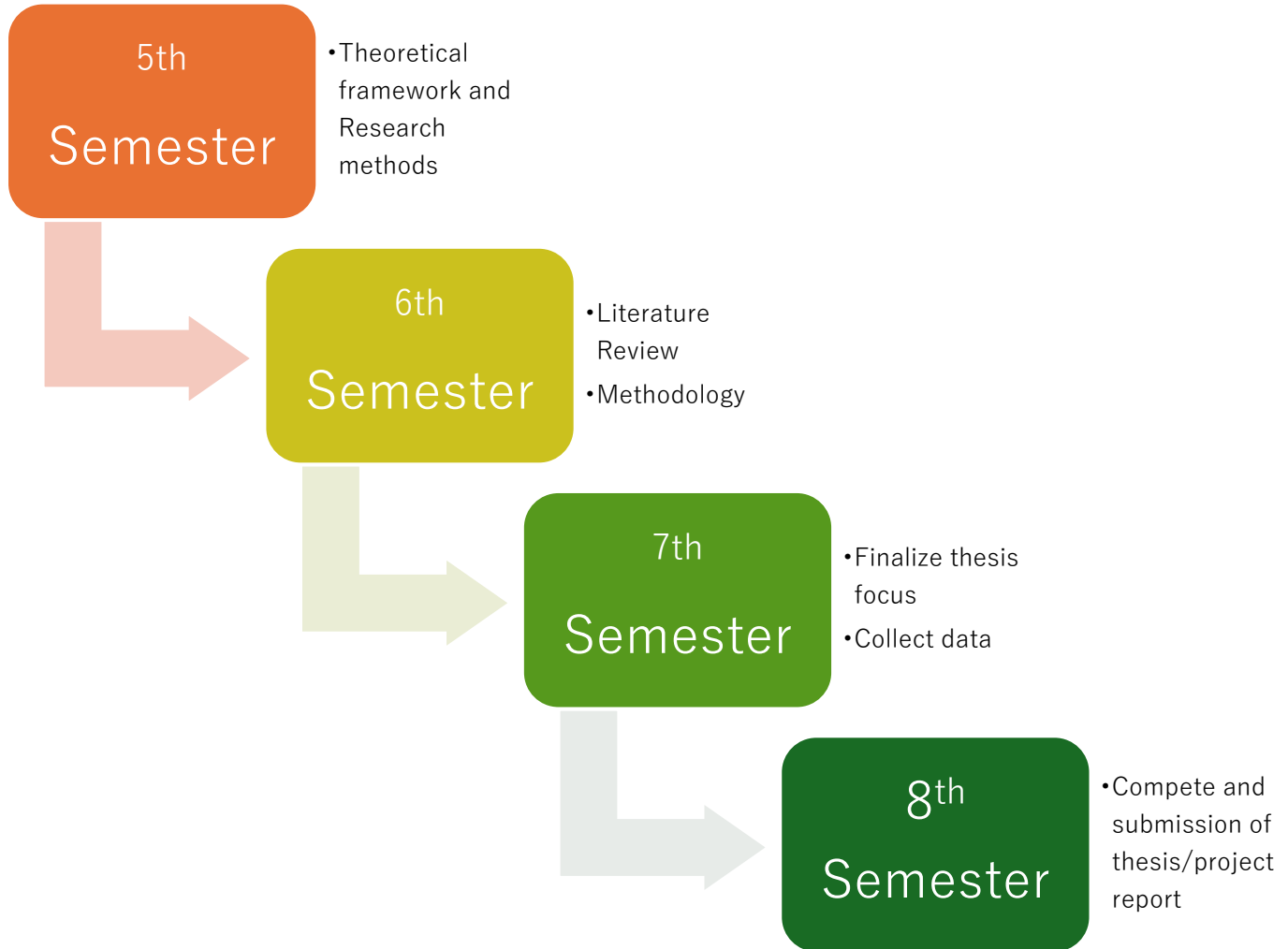
O

- Outcomes
- What are you trying to achieve? How to measure the outcome?

S

- Study type
- What type of study is likely to explore your questions?

Seminar Flow (3rd year and 4th year)



教員名 Instructor	BUI Thanh Huong
曜日・時限 Day, Period	木曜日・5限 Thu, 5 th
開講言語 Language	English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	Please contact the instructor via email: huongbui@apu.ac.jp to set consultation time at my office BII-384
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field(Keywords related to lecture content)	<p>Concentrations</p> <p>Tourism Studies</p> <p>Tourism Industry Operation</p> <p>Hospitality Operation</p> <p>Keywords</p> <p>Economic, Social & Environmental Impacts Assessment</p> <p>Evidence-based decision making</p> <p>Research methods</p> <p>Hospitality Operation</p>
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

(✓) 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

() 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-a)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	Students will learn methods to collect and process relevant data using Econometrics (using secondary data) and Psychometrics (gathering primary data) tools.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	Lecture 1. Introduction Lecture 2. Understanding the ESG concept Lecture 3. Application of ESG in tourism and hotel industry Lecture 4. Case study of EGS (1) Lecture 5. Case study of ESG (2) Lecture 6. Case study of ESG (3) Lecture 7. Inter-rim assessment of understanding of ESG Lecture 8. Collecting secondary on ESG (1) Lecture 9. Collecting secondary on ESG (2) Lecture 10. Data analysis using econometric models Lecture 11. Collecting primary data on ESG (1) Lecture 12. Collecting primary data on ESG (2) Lecture 13. ESG project presentation Lecture 14. Wrap up
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	Students are required to read widely to compile a collection of case studies, search databases for implementations of econometrics methods and carry out fieldwork to collect data if using psychometrics methods.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	(1) Presentation of readings, case studies and methods exercises (50 %) (1-a) (2) Project presentation and report (50%) (2-b)

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>Students might work with members from different countries, collect data from other nations/continents, or use various languages for data collection.</p>
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	<p>The instructor has rich industry experience of consultants and research on tourism, hospitality and events</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>Selective readings with technical contents are prepared by the instructors for weekly tasks.</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>Relevant database EBSCOhost https://web.p.ebscohost.com/ehost/search/selectdb?vid=0&sid=8939adaa-a0af-4725-82a5-2d5aa0ad2bb9%40redis Web of Science https://www.webofscience.com/wos/woscc/basic-search Oxford Economics https://www.oxfordeconomics.com/</p>

Component 1. ESG Concepts

ESG for hospitality and tourism research

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0261517724000736>

A bibliometric analysis of the hospitality and tourism environmental, social, and governance (ESG) literature

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1447677024000032>

Environmental, social, and governance (ESG) measurement in the tourism and hospitality industry

<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/10548408.2023.2293008>

Component 2. ESG case studies

ESG reports from major hotels and tourism firms

<https://sustainablehospitalityalliance.org/resource/business-case-for-sustainable-hotels/>

<https://www.greenglobe.com/member-case-studies>

Component 3. Econometrics and Psychometrics

The student will carry out a research project by gathering and analyzing using data from the World Bank, ADB, Oxford Economics, etc.. Students analyze data using software such as Excel.

Students will carry out an experimental design project using selected principles, collect empirical data and analyzing using respective software such as Excel and SPSS.

Recommended subjects related to this seminar:

Statistics

Introduction to Economics

Introduction to Tourism and Hospitality

Online Databases

Web of Science

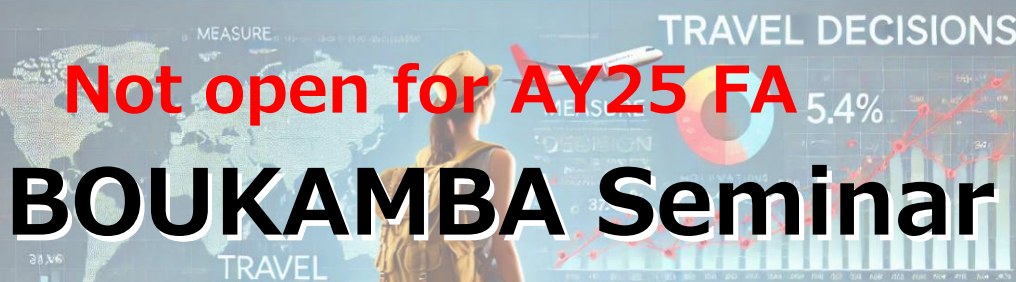
e-library (World Bank online)

The Oxford Economics Global Economics Database

World Bank Online

EBSCOhost

Euromonitor



Thursday 4th period (provisional)

■ Concentrations

- Tourism Studies
- Tourism Industry Operations
- Hospitality Operations
- Regional Development

■ Keywords

- Tourist behavior
- Psychometrics
- Survey design
- Measurement Scales
- Statistical validation

■ Research Interest

- Developing measurement tools to study tourist behavior and socio-psychological decision-making factors.

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgAp?resId=S001656>

■ Current Courses

- Introduction to Tourism & Hospitality
- Tourism Development & Planning
- Sociology of Tourism
- Culture & History of Tourism
- Tourism Operations
- Tourism Practicum (Beppu City)

■ Introduction of the Seminar

This seminar delves into the development and validation of measurement scales for tourist behavior research. It explores essential socio-psychological factors affecting tourist behavior at different stages of the travel process and applies these foundations to scale development methods and advanced statistical techniques. Students will engage in tasks such as survey design, item generation, scale construction, and factor analysis, gaining practical experience with psychometric methods in tourism studies. The seminar equips students with analytical thinking and practical problem-solving skills, preparing them to address complex challenges in tourism research and practice. Priority will be given to students keen on quantitative methods and those aiming to produce a high-quality research project or thesis.

Instructor	BOUKAMBA Kimo Hermann
Day, Period	Thu, 4 th
Language	English
Consultation for selection of seminar	Please visit B-507 during the office hour. (Thurs., 3 rd) Or, please send e-mail to: boukamba@apu.ac.jp
Subject Field(Keywords related to lecture content)	Concentrations: Tourism Studies; Tourism Industry Operations; Hospitality Operations; Regional Development. Keywords: Tourist behavior; Psychometrics; Survey design; Measurement Scales; Statistical validation.
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	<p>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</p> <p>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</p>

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	Under the guidance of faculty members, students will learn a variety of data research and analysis methods that will serve as the basis of their research. Through joint presentations and individual presentations through group work, each participant will share their results and provide feedback.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	(1) Course orientation session (2) Tourist behavior and the travel process (3) Importance of measurement & the scale development process (4) Workshop 1: Factor identification within research interests (5) Workshop 2: Conceptualizing the desired construct (6) Workshop 3: Initial item generation (7) Workshop 4: Content validation & survey design (8) Workshop 5: Data processing (9) Workshop 6: Exploratory factor Analysis (EFA) with SPSS (10) Workshop 7: Interpretation of EFA results tourist behavior theory (11) Workshop 8: Confirmatory Factor Analysis (CFA) with SmartPLS (12) Workshop 9: Interpretation of CFA results, Validity and Reliability checks (13) Course review and knowledge integration (14) Final presentations
授業外学習 (予習復習) の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	Please read the assigned sections from the book “Scale Development: : Theory and Applications, by DeVellis and Thorpe (2022) outside of class hours. In addition, students will need 4~5 hours of after-class study every week to review and prepare for presentations.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	① Degree of commitment and contribution to each class (50%) (1-c) ② Completeness of the final deliverable (the culmination of the results of each workshop) (50%) (2-b)

多文化協働学習の実践方法 Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning	We aim to create an environment where the commonalities and differences in each student's expertise and interests are understood, allowing students and faculty to complement and inspire one another.
授業担当教員の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia)	Worked at the Ministry of Tourism (Gabon) in the Department of Tourism Resources and Statistics. He has held this position since April 2022. He holds a Master's degree in Tourism and Hospitality Management, as well as a Doctorate in Tourism Studies. He has professional experience in both South Africa and Gabon.He looks forward to sharing a variety of experiences with our students.
テキスト備考 Textbook Notes	It doesn't use any text. Teachers will provide teaching materials on a case-by-case basis.
参考文献 Further Reading	<ul style="list-style-type: none"> • Boukamba, H. K., Oi, T., & Sano, K. (2021). A Generalized Approach to Tourist Ethnocentrism (GATE): Analysis of the GenE Scale for Application in Tourism Research. <i>Journal of Travel Research</i>, 60(1), 65-85. • Kock F., Josiassen A., Assaf A. G., Karpen I., Farrelly F. 2019. “Tourism Ethnocentrism and Its Effects on Tourist and Resident Behavior.” <i>Journal of Travel Research</i> 58 (3): 427–39. • Siamagka N. T., Balabanis G. 2015. “Revisiting Consumer Ethnocentrism: Review, Reconceptualization, and Empirical Testing.” <i>Journal of International Marketing</i> 23 (3): 66–86. • Shimp T. A., Sharma S. 1987. “Consumer Ethnocentrism: Construction and Validation of the CETSCALE.” <i>Journal of Marketing Research</i> 24 (3): 280–89. • DeVellis, R. F., Thorpe, C. T. (2022). <i>Scale Development: Theory and Applications</i>. India: SAGE Publications, Incorporated.

学生への要望
事項
Requirements
for Students

- It is mandatory to bring a laptop and mouse to each class.
- It is desirable to have a strong interest in quantitative research methods.
- Students must have a strong interest in the field of tourist behavior and socio-psychological factors that affect decision-making.
- Students must attend all lessons.
- Students must be prepared to work individually and sometimes in groups of 3.
- Students must be prepared to be introduced to data analysis software such as SPSS and SmartPLS.
- Homework will be assigned, and students are required to complete it on time.
- Students must be willing to read the assigned materials by the specified deadlines.
- Students must keep up with the technical vocabulary used during the course.
- Students must participate actively in discussions and class activities.



Sunny's Seminar

Thursday 4th period (provisional)

■ Concentrations

- Hospitality Operation
- Tourism Industry
- Tourism Studies

■ Keywords

- E-commerce
- Hotel Robotic Technologies
- Mobile Payment

■ Research Interest

- Hotel Reservation
- Information & Communications Technologies
- Consumer Behavior

■ Current Courses

- Destination Marketing & Management
- Food & Beverage Operation
- Hospitality Operation
- Resort Development
- Tourism in the Asia Pacific (GSA)

■ Introduction of the Seminar

In this seminar, students will be able to understand different ways to evaluate hotel and tourism websites, improve the functionality and usability of hotel and tourism websites, with the ultimate goals of improving customer satisfaction and increasing hotel revenue. In addition, students will be able to understand the impacts of ICTs on hotel reservation, diverse channels for hotel reservation, and be embraced with the latest technology applications to hotels. Furthermore, critical thinking and independent research skills of the students will be developed, and personalized guidance will be provided during this semester.

教員名 Instructor	SUN Yiyang, Sunny
曜日・時限 Day, Period	Thu, 3 rd
開講言語 Language	English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	You can visit B-527 during my office hour or send e-mail to: sunnysun@apu.ac.jp
講義分野（講 義内容に関す るキーワード Subject Field(Keywor ds related to lecture content)	Concentrations: <ul style="list-style-type: none"> • Hospitality Operation • Tourism Industry • Tourism Studies Keywords: <ul style="list-style-type: none"> • E-commerce • Hotel Robotic Technologies • Mobile Payment
履修の目安 Recommend ed Qualificati ons / Knowledge	This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

① Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	Lectures are conducted using methods such as a literature review that is relevant to the theme, individual presentations by each student, group presentations, class discussions, and small group discussions.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	<ul style="list-style-type: none"> ① Orientation - Explanation of course procedures, evaluation methods, and self-introduction, etc. ② Instruction on Research Methods – Fundamentals (I) ③ Instruction on Research Methods – Fundamentals (II) ④ Instruction on Research Methods – Advanced ⑤ Instruction on Research Methods – Literature review (I) ⑥ Instruction on Research Methods – Literature review (II) ⑦ Instruction on Research Methods – Discussions & individual guidance ⑧ Summary of first 7 sessions and discussions, and an explanation of 8th session onward ⑨ Start to prepare final report ⑩ Discussions and individual guidance ⑪ Discussions and individual guidance ⑫ Discussions and individual guidance ⑬ Presentation ⑭ Presentation
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	To complete their individual research papers and reports, it is essential for each student to continue reading, analyzing, and investigating literature. In addition, several hours of self-study at home are necessary every day to prepare for individual and group presentations.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ①In-class participation (50%) (1-c) ②The final outcome (50%) (2-b)

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	In each class, multicultural collaboration will be integrated into studies.
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia	NA
テキスト備考 Textbook Notes	Veal, A. J. (2011). Research Methods for Leisure and Tourism: A Practical Guide (3rd Edition). UK: Prentice Hall.
参考文献 Further Reading	Further reading will be provided by the lecturer depending on your progress.

学生への要望
事項
Requirements
for
Students

- Have interest in hospitality and tourism operations
- Have interest in hospitality and tourism e-commerce
- Have interest in information and communications technologies
- Willing to cope with research-related difficulties
- Be patient for continuous revision



DR. JONES' ZEMI

Thomas E. JONES
立命館APU

Home

Activities & Projects

Graduate

Undergraduate

News

Interns etc.

Study Sites

About

Welcome to APU in Beppu Bay, Oita, Japan! This is the Website of Professor Thomas JONES from APU's new college of Sustainability & Tourism.



Thomas Jones, Professor.

<https://sites.google.com/view/jones-zemi/home>

Ritsumeikan APU, College of Sustainability and Tourism

https://www.researchgate.net/profile/Thomas_Jones55

Orcid: 0000-0002-4097-1886



Jones Seminar

<https://sites.google.com/view/jones-zemi/home>

Orcid: 0000-0002-4097-1886

■ Concentrations

- Environmental Studies
- Resource Management

■ Research Interest

- Natural resource conservation; Environmental Policy, Sustainable Tourism; Protected Areas, Regional Development; National Parks; Geoparks; Wildlife Tourism

https://www.researchgate.net/profile/Thomas_Jones55



■ Keywords

- "Leave no trace" (LNT)
- Sustainability & SDGs
- UNESCO World Heritage Sites
- Nature-based tourism
- International visitor segments

■ Current Courses

- Biodiversity
- Parks & Protected Areas
- Natural Resource Management and Environmental Conservation*

*MSc

■ Introduction of the Seminar

This seminar explores issues in Environmental management, especially SDGs & Sustainability. We will examine visitor management issues at national parks and UNESCO World Heritage Sites to consider natural resource conservation, carrying capacity and visitor experience. Through analysis of case studies and hands-on examples, students gain insight into the sustainable development of Parks & Protected Areas via conceptual or empirical frameworks e.g. LNT.

教員名 Instructor	Thomas JONES
曜日・時限 Day, Period	木曜日・6限 Thu, 6 th
開講言語 Language	English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	Please contact the instructor via email
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field(Keywords related to lecture content)	<p>Keywords</p> <p>Natural resource conservation; Environmental Policy, Sustainable Tourism; Protected Areas, Regional Development; National Parks; Geoparks; Wildlife Tourism</p> <p>■ Concentrations</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Environmental Studies ■ Resource Management
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

(✓) 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

() 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-a)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	In principle, the students will present ideas and assignments relevant to choosing and defining the parameters of their thesis and receive feedback from other seminar participants.
毎回の授業の 概要 Overview of Each Class	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Identity your research topic 3. Systemic literature review (1) 4. Systemic literature review (2) 5. Database research 6. Alignment of research topic and datasets 7. Presenting your research topic and methods of data collection 8. Basic Research skills (1) 9. Basic Research skills (2) 10. Basic Research skills (3) 11. Basic Research skills (4) 12. Analyze your data (1) 13. Analyze your data (2) 14. Presenting your research project
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	Students are required to read widely, narrow down the topic and identify their Keywords in order to carry out targeted fieldwork to collect data using qualitative and/or quantitative methods.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> ① Ongoing presentation of Research skills (50%) (1-a) ② Project presentation and report (50%) (2-b)

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	Students will work with members from different countries, collect data from other nations/continents, or use various languages for data collection.
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia	The instructor has industry experience in environmental consulting and planning, also market research on tourism and conservation.
テキスト備考 Textbook Notes	The main reading is below. In addition, selective readings with technical contents are prepared by the instructors for weekly tasks. Linda Steg, Judith I. M. De Groot. Environmental Psychology: An Introduction. Toronto: John Wiley & Sons Ltd, 2019. Version 2
参考文献 Further Reading	By arrangement.

I. How do I prepare my Presentation to review a Sempai’s “Outstanding Thesis”?

step 1): Scanning start searching for a **Sempai Thesis** link using any/all of the following:-

i) Jones Zemi HP (Abstract via Padlet then ask me for full Thesis); ii) APU undergrad or Grad theses:-
https://en.apu.ac.jp/academic/assets/file/aps/seminar/Outstanding_Thesis_Titles_APS_E.pdf
<https://en.apu.ac.jp/media/library/thesis/index.html/>

step 2): Scoping

either in pairs OR individually, download several **Outstanding** theses based on the Title. Then select one **Thesis** based on relevant research theme; keywords; methodology etc.

step 3): Screening
using the Template below, make a PPT to summarize **your own findings** from a review of the selected Thesis. (stick to the template as far as possible)

[Outstanding Thesis E.G.ppt - 2019-10-31 17:21:32](#)

step 4): present the key findings from the PPT in class

I. How to narrow down my topic?

- Start reading broadly with a long list, here’s a useful resource for narrowing down:-

<https://www.monash.edu/rlo/research-writing-assignments/understanding-the-assignment/developing-research-questions>

I. Undergrad checklist for Spring semester

Here’s a checklist for Spring semester’s “To Do” list:-

+++++

1): comment on Sempai’s thesis review in FlipGrid (<https://flip.com/b3b8f986>)

2): post your own Sempai’s thesis review in FlipGrid

3): read & review one chapter from ENV. PSYCHOLOGY book

4): write-up your research interests as a **Term Paper!!**

※ also the same as an **Individual Research Proposal**

+++++



MEIRMANOV Serik Seminar



Tuesday 5th period

■ Concentrations

- International Development
- Tourism Industry Operations
- Hospitality Operation
- Tourism Studies

■ Keywords

- Health and Wellness Tourism
- Health Science
- Psychology
- Leadership
- Higher Education

■ Research Interest

- Public Health, Psychology, Higher Education

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001494&Language=2>

■ Current Courses

- Health and Wellness Tourism
- Psychology
- Public Health (GSA)
- Health and Wellness Tourism (GSA)

■ Introduction of the Seminar

This research-based seminar explores the intersection of health science, psychology, and leadership within the thriving field of health and wellness tourism. Students will choose a specific area of interest within this field to research and analyze, gaining a deeper understanding.

Students will have the freedom to choose a specific topic within this broad domain and conduct in-depth research, culminating in the creation of a comprehensive thesis.

This is your chance to make a meaningful contribution to this rapidly evolving field while honing your research and analytical skills.

<div>教員名</div> <div>Instructor</div>	<div>メイルマノフ セリック</div> <div>MEIRMANOV Serik</div>
<div>曜日・時限</div> <div>Day, Period</div>	<div>火曜日：5限</div> <div>Tuesday, 5th</div>
<div>開講言語</div> <div>Language</div>	<div>英語</div> <div>English</div>
<div>ゼミ選択相談</div> <div>Consultation for selection of seminar</div>	<div>オフィスアワー（火曜日5限@F-345）に随時受け付けます。</div> <div>事前にメールでご予約ください。serikmed@apu.ac.jp</div> <div>Please visit F-345 during the office hour. (Mon, 2rd)</div> <div>Please inform about the appointment beforehand by e-mail: serikmed@apu.ac.jp</div>
<div>講義分野（講義 内容に関する キーワード</div> <div>Subject Field(Keyword s related to lecture content)</div>	<div>コンセンタレーション：</div> <div>国際開発、ホスピタリティ産業、観光産業、観光学</div> <div>キーワード：</div> <div>健康とウェルネス観光、健康科学、心理学 リーダーシップ、高等教育</div> <div>Concentrations:</div> <div>International Development, Tourism Industry Operations, Hospitality Operation, Tourism Studies</div> <div>Keywords:</div> <div>Health and Wellness Tourism, Health Science, Psychology, Leadership, Higher Education</div>
<div>履修の目安</div> <div>Recommended Qualifications / Knowledge</div>	<div>本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、 3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップス トーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。</div> <div>This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.</div>

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (graduation project / capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while faculty members will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research and analysis methods, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for

[Relationship with learning objectives]
course is designed to help students acquire the following learning objectives (LO: learning objectives) (marked with a ✓).

1. Acquire specialized knowledge related to the formation of a sustainable society and tourism.

() 1-a. To society and the community

This will enable students to gain a cross-disciplinary understanding of the topic.

() 1-b. Have basic knowledge about sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Have expertise in sustainable society and tourism.

2. Acquire literacy for problem solving

() 2-a. Able to think logically and critically.

(✓) 2-b. It can be analyzed qualitatively and quantitatively.

() 2-c. Ability to demonstrate problem-solving skills related to sustainable society and tourism.

() 2-d. Able to communicate and collaborate in a multicultural environment.

3. Develop a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Ability to act in accordance with norms related to sustainable development.

() 3-b. We can act in accordance with the Global Code of Ethics for Tourism (GCET) .

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

<p>授業方法 Teaching Methods</p>	<p>教員による指導のもと、受講生は自らの研究の基礎となるさまざまなデータ調査および分析方法を身に着けます。グループワークによる共同発表や個別発表により各自の成果を共有しフィードバックを行います。 Under the guidance of faculty, students will acquire data accumulation and analysis methods that will serve as the basis for their own research. Students will share their results through joint group work and individual presentations, and receive feedback on their findings.</p>
<p>毎回の授業の概要 Overview of Each Class</p>	<p>① オリエンテーション、受講生自己紹介など ② - ④ データ取得、分析方法にかかわる指導、学生の研究のアイディアの提案 ⑤ - ⑥ 研究方法に関する指導。学生は研究提案書を提出します。 ⑥ 都市・地域のデータ取得、分析方法にかかわる指導 ⑦ - ⑬ 学生は研究を行い、研究の進捗状況を発表する ⑭ 最終成果発表 ① Orientation, student self-introductions, etc. ② - ④ Guidance on how to collect data, Students propose their own research ideas ⑤ - ⑥ Guidance on research methodology. Students provide their research proposal. ⑦ - ⑬ Students perform research and present research progress ⑭ Final results presentation</p>
<p>授業外学習（予習復習）の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)</p>	<p>自分にとって参考となる最良の文献（書籍）を授業時間外に講読してください。さらに、復習および発表準備のために毎週4～5時間程度の授業時間外学習が必要になります。 Please read the best reference materials (books) that you can outside of class hours. In addition, you will need to study outside of class hours for about 4 to 5 hours each week for review and preparation of presentations.</p>
<p>成績評価方法 Method of Grade Evaluation</p>	<p>毎回の授業への取り組み度合い・貢献度合い (50%) (1-c) 最終成果物（毎回の演習成果の集大成）の完成度 (50%) (2-b) Degree of commitment and contribution to each lesson (50 %) (1-c) Completeness of the final product (the total of the results of all classes) (50%) (2-b)</p>

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>教員が各学生の専門性や関心にかかわる共通事項や違いを把握したうえで、お互いに補完しあったり刺激しあったりできる環境づくりを目指します。</p> <p>Our aim is to create an environment where faculty members can understand the commonalities and differences between each student's specialties and interests, and can complement and stimulate each other.</p>
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	<p>カザフスタンの医学部を卒業。病院で外科医として勤務。甲状腺発癌の研究で医学博士号を取得。APUで健康科学、心理学、公衆衛生、健康観光のコースを教えている。研究対象は公衆衛生、心理学、高等教育の分野。</p> <p>Graduated from Medical School in Kazakhstan. Worked at hospital as a surgeon. Hold PhD degree in Medical Science for the research of thyroid carcinogeneses. At APU teaches Health Science, Psychology, Public Health and Health Tourism Courses. Research interest in the area of Public Health, Psychology and Higher Education.</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>テキストは特に使用しません。教員が都度教材を提供します。</p> <p>No textbooks are used. Teachers will provide teaching materials for each class.</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	

Requests to
students
Requirements
for
Students

- 学生はノートパソコンまたはタブレットを持参する必要があります
- 「健康科学」および/または「心理学」および/または「健康とウェルネスツーリズム」のコースを受講していることが望ましい
- 学生はすべてのクラスに参加する必要があります
- 研究プロジェクトを積極的に開発し、取り組みます
- Students are required to bring a laptop or tablet
- It is desirable to have taken the courses “Health Science” and/or “Psychology” and/or “Health and Wellness Tourism”
- Students required to participate in all classes
- Proactively develop and work at their research project



KC Seminar

Thursday 4th period (provisional)

■ Concentrations

- International Development
- Social Entrepreneurship

■ Keywords

- Foreign Aid, Localization
- Management, Governance, Effectiveness, and Innovation of NPOs, NGOs, and Social Enterprises

■ Research Interest

- Role of third sector organizations in development

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001691&Language=2>

■ Current Courses

- Introduction to Sociology
- Critical Reading I & II
- Introduction to Development Studies
- Thailand Field Study

■ Introduction of the Seminar

This seminar will explore issues in the management and governance of NPOs, NGOs and social enterprises. We will examine topics including foreign aid dynamics and the push for localization in development, organizational effectiveness and innovation in the non-profit sector, governance structures and board roles in NPOs and NGOs, funding patterns and resource allocation in civil society organizations, spatial distribution and geographic choices of NGOs, and impacts of external shocks like pandemics. Through analysis of empirical studies and case examples, you will gain insight into the factors shaping these organizations' work.

教員名 Instructor	KC Dipendra
曜日・時限 Day, Period	Thu, 4 th
開講言語 Language	English
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	Please send an e-mail to arrange a consultation meeting: dipendra@apu.ac.jp
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field(Keywords related to lecture content)	Concentrations: Social Entrepreneurship, International Development Keywords: ① Evolution, Governance, Management, and Leadership of Third Sector Organizations (NGO, SE, CSO) ② Political economy of aid targeting and effectiveness
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and ""Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	This seminar will use lectures, group discussions, writing workshops, and data analysis sessions to develop research and analytical skills. Students will engage in peer review, present their findings, and participate in group projects.
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction of the seminar 2. Workshop on research question development 3. Workshop on research question development 4. Workshop on research question development 5. Workshop on methodology 6. Workshop on methodology 7. Workshop on methodology 8. Data analysis workshop 9. Data analysis workshop 10. Data analysis workshop 11. Data analysis workshop 12. Data analysis workshop 13. Data analysis workshop 14. Revision and conclusion
授業外学習 （予習復習） の内容と分量 Study Content and Load outside of Class (preparation and review)	Students are expected to develop their own reading lists under faculty guidance, tailored to their research interests and seminar topics. Additionally, outside of class, students should dedicate 4 to 5 hours per week for reviewing materials, preparing for discussions, and developing presentations.
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> ① Class participation and contribution (50%) (1-c) ② Final project (50%) (2-b)

多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning	Students will collaborate in diverse teams, engaging in group activities and discussions to promote cross-cultural understanding. Peer feedback sessions will further encourage the exchange of different cultural perspectives on research.
授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia	Dipendra KC has extensive experience in international development, having co-founded an NGO in Nepal, worked with a social enterprise in Bangkok, and served as a research consultant for UN agencies.
テキスト備考 Textbook Notes	No textbooks. Teaching materials will be provided in Moodle.
参考文献 Further Reading	

学生への要望
事項
Requirements for
Students

- Students are required to bring their PCs to every class for research and data analysis activities.
- Complete assigned readings and background work prior to workshops to actively participate in discussions and exercises.
- Engage in peer feedback sessions and collaborative group work throughout the course.
- Attend and contribute to all workshops, presentations, and discussions.

HC Conservation Zemi

HC生物多様性保全学ゼミ Thursday 5th period





HC Conservation Zemi

HC生物多様性保全学ゼミ Thursday 5th period

Concentrations

- Environmental Studies
- Resource Management
- International Development

www.hcxconservation.org/lab



Keywords

- Biodiversity conservation
- Human dimensions of conservation
- Global environmental governance
- Wildlife, nature, natural resources

Research interests

- Wildlife trade
- Conservation geopolitics
- Inclusion in science & conservation

Current courses

- Biodiversity
- Environmental Education
- Critical Reading I & II
- Beppu Community Development

Introduction of the seminar

Biodiversity is essential for the processes that support life on Earth. However, human activities are causing global biodiversity loss. Effective conservation is vital to ensure the survival of threatened species and continued human flourishing.

The HC Conservation Seminar focuses on experiential learning in biodiversity conservation. Students variously explore interdisciplinary concepts, contribute to research and practice, and engage in environmental education activities.

本科目は、生物多様性保全分野の体験学習に重点を置いている。学生は保全における学際的な概念を探求し、保全の研究と実践に貢献し、環境教育活動に従事する。

教員名 Instructor	CHEUNG Hubert
曜日・時限 Day, Period	Thu, 5 th 木曜日・5限
開講言語 Language	English 英語
ゼミ選択相談 Consultation for selection of seminar	Please see www.hcxconservation.org/lab for details and instructions before sending an e-mail to arrange a consultation meeting: hccheung@apu.ac.jp
講義分野（講義内容に関するキーワード） Subject Field(Keywords related to lecture content)	Concentrations: Environmental Studies, Resource Management, International Development Keywords: Biodiversity, Conservation, Environment, Natural Resources, Nature, Wildlife コンセンテーション： 環境学、資源マネジメント、国際開発 キーワード： 生物多様性、自然保護、環境、天然資源、自然、野生生物
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	本科目は、1年次に「社会調査法入門」、2年次に「文献講読I」、「文献講読II」、3年次に「専門演習」、4年次に「卒業研究」、「卒業プロジェクト」/「キャップストーン」と、系統的に開講される演習科目の3年次の科目に位置付けられています。 This course is a third-year course of the research training which is offered systematically: "Introduction to Research Methods" in the first year, "Critical Reading I" and "Critical Reading II" in the second year, "Major Seminar" in the third year, "Research Seminar" and "Graduation Project"/"Capstone" in the fourth year.

授業概要
Course
Overview

本科目では、2年次までに養った研究スキルをさらに向上させ、最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けた基盤づくりを行う。受講生はすでに習得している文献レビュースキルに加え、調査・分析スキルを向上させつつ、独自の研究課題を設定していく。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、批判的および論理的思考能力を養いながら、受講生が決めた研究課題について教員が理論的、方法的に指導を行う。受講生は研究課題、調査分析方法を精緻化し、4年次で取り組む最終成果科目（卒業プロジェクト/キャップストーン）に向けて各自が設定した研究テーマに応じたデータ収集・分析も開始する。

【ラーニング・オブジェクティブとの関係】

本科目は、下記ラーニング・オブジェクティブ（LO:学習目標）（✓印）の修得に向けて設計された科目である。

1. 持続可能な社会の形成と観光に関する専門知識を修得する
（ ） 1-a. 社会と地域に

ついて学問横断的に理解することができる。

- （ ） 1-b. 持続可能な社会と観光についての基礎知識を身につけている。
（✓） 1-c. 持続可能な社会と観光についての専門知識を身につけている。

2. 課題解決のためのリテラシーを修得する

- （ ） 2-a. 論理的・批判的に思考することができる。
（✓） 2-b. 定性的、定量的に分析することができる。
（ ） 2-c. 持続可能な社会と観光に関する問題解決能力を発揮することができる。
（ ） 2-d. 異文化環境においてコミュニケーションや協働ができる。

3. 世界市民としての責任感を身に付ける

- （ ） 3-a. 持続可能な開発に関する規範に沿って、行動することができる。
（ ） 3-b. 「世界観光倫理憲章（GCET）」に沿って、行動することができる。

授業概要
Course
Overview

In this course, students will further improve the research skills they have acquired in their second year and build a foundation for the final subject (Graduation Project/Capstone). Students will set their own research topic while improving their research and analysis skills in addition to the literature review skills they have already acquired. Through discussions and presentations, students will develop their critical and logical thinking skills, while the instructor will provide theoretical and methodological guidance on the research topic they have set. Students will refine their research topic and research analysis methodology, and begin collecting and analyzing data according to the research topic they have set for the final subject (Graduation Project/Capstone) in their fourth year.

【Relation with ST LO's】

This course is designed for the acquisition of the learning objectives (LOs) (✓ mark).

1. Acquire specialized knowledge on sustainable society and tourism

() 1-a. Understand societies and communities from interdisciplinary perspectives.

() 1-b. Demonstrate mastery of the fundamentals of sustainable society and tourism.

(✓) 1-c. Demonstrate mastery of specialized knowledge on sustainable society and tourism.

2. Acquire problem-solving literacy

() 2-a. Use critical and logical thinking skills.

(✓) 2-b. Apply research and analytical skills, qualitatively and/or quantitatively.

() 2-c. Exercise problem-solving skills applicable to sustainable society and tourism.

() 2-d. Communicate and collaborate across cultures.

3. Acquire a sense of responsibility as a global citizen

() 3-a. Act in accordance with the norms of sustainable development.

() 3-b. Demonstrate a commitment to the Global Code of Ethics in Tourism.

到達目標
Course
Objectives

4年次最終成果科目に取り組む準備として、下記のスキルを身に着けることを目標とする
The goal is to acquire the following skills in preparation for the final course in the fourth year.

①授業を通して身につけた専門知識を活用しつつ、以下のすべてができる

Using the specialized knowledge acquired in courses, the student is able to do all of the below:

☐ 適切な検索ツールを使用して、専門的な文献や情報に正確にアクセスでき、

Use appropriate search tools to access specialized literature and information accurately

☐ それらの内容を説明でき、
Explain the contents

☐ それを用いて、課題を正確に特定することができる。
Use it to precisely identify issues.

☐ さらに、それらを適切に引用できる。
Appropriately cite it

(1-c)

②自身の研究のために、下記のすべての手法を用いて調査を進めることができる

Can identify and implement all the following methods for conducting a research.

☐ 適切な調査ツールを選定したうえで、
Selection of the appropriate research instrument

☐ 実現性のあるデータ収集を行い、
Feasible data collection

☐ 最適なデータ分析を行う
Suitable method for data analysis

(2-b)

授業方法 Teaching Methods	<p>The HC Conservation Zemi employs a project-based learning approach that emphasizes student autonomy. Under the instructor's guidance, students will variously develop research, critical thinking, communication and project management skills through practical conservation research and practice.</p> <p>HC生物多様性保全学ゼミは、学習者オートノミーを重んじる問題解決型学習アプローチを採用している。</p>
毎回の授業の概要 Overview of Each Class	<ol style="list-style-type: none"> 1. HC Conservation Zemi orientation and self-reflection 2. Exploring concepts and ideas in conservation 3. Proposal writing workshop 4. Proposal writing workshop 5. Proposal writing workshop 6. Project development workshop 7. Project development workshop 8. Project development workshop 9. Project development workshop 10. Progress report poster presentations 11. Project management workshop 12. Project management workshop 13. Project management workshop 14. HC Conservation Zemi wrap-up
授業外学習の内容と分量 Study Content and Load outside of Class	<p>Approximately 5 hours of study outside of class per week is necessary for project development, preparation and execution.</p> <p>プロジェクトの開発、準備、実行には、毎週5時間程度の授業時間外学習が必要です。</p>
成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> • 28% - Active participation in class • 15% - Project proposal • 15% - Progress report poster presentation • 42% - Final project deliverables

<p>多文化協働学 修の実践方法 Method of Implementin g Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>① Ideas which promote multicultural learning</p> <ul style="list-style-type: none"> Class discussions and collaborative project activities on various biodiversity topics, conservation issues, and case studies from Japan and around the world <p>② Ideas which promote student cooperation and active learning</p> <ul style="list-style-type: none"> Class discussions and collaborative project activities on various biodiversity topics, conservation issues, and case studies from Japan and around the world
<p>授業担当教員 の実務経験 Instructor's professional experience / involvement (outside academia</p>	<p>www.hcxconservation.org/about</p>
<p>テキスト備考 Textbook Notes</p>	<p>Conservation Biology for All Navjot S. Sodhi and Paul R. Ehrlich (eds.) Freely available at https://conbio.org/publications/free-textbook/</p>
<p>参考文献 Further Reading</p>	<p>Conducting Research in Conservation: Social Science Methods and Practice Helen Newing https://www.routledge.com/Conducting-Research-in-Conservation-Social-Science-Methods-and-Practice/Newing/p/book/9780415457927?srsItd=AfmBOooNaAE9uH4Cm8v9AIWaOGia8GC42xkPTbLVw_5yrpv4gYT04etO</p>

<div> <div> <div>学生への要望事項</div> <div>Requirements for Students</div> </div> </div>	<div> <ol style="list-style-type: none"> Students will need to bring their laptop, a pen, and a notebook to each class. Class attendance is expected. This classroom is an inclusive space for open inquiry, viewpoint diversity, and constructive disagreement. Students are expected to contribute to a relaxed but professional environment to facilitate effective learning and frank debate. Respect for others and their opinions is expected at all times, particularly as members of the classroom community may come from diverse backgrounds. Assignments must be completed and submitted on time. Late submissions will be marked down at 10% per day (including weekends and holidays) for up to seven days, after which a grade of zero will be given. The only exceptions are where the student is absent due to religious holidays or official university events, genuine emergencies, or other unforeseen personal circumstances (as assessed and approved by the instructor on a case-by-case basis). Guest lectures, field visits and team-building activities are subject to availability and may occur outside of scheduled class times. Students are encouraged to attend wherever possible, though attendance is not necessary to satisfy course requirements. The HC Conservation Zemi is envisaged as an extension of the HC Conservation Lab. Students may be asked to provide a personal bio and to make their project deliverables available for public communication via the instructor's lab website, social media and other communication channels as appropriate. </div>
--	--